

九州共立大学工学会誌

1995
NO.12

COM

発行 九州共立大学工学部

〒807 北九州市八幡西区自由ヶ丘1番6号
TEL.093-691-3331・3333

COM



COM 1995・MARCH NO.12
CONTENTS

先達からの備忘録	1
『超常現象の科学と非科学』	3
身近な遊び場知ってるかい	
▲折尾スポーツセンター・バッティングセンター	4
▲北九州プリンスホテル	5
▲宗像ユリックス	6
▲本城公園・水辺の里	7
私のおすすめメニュー	8
霜月祭	
▲30th 霜月祭 '94 11月1～3日	12
▲Making of 霜月祭	14
▲工学会の運営委員も頑張ってるんだぞ!	17
阿蘇 ～道路の価格について～	19
九州はひとつ	22
北海道横断ツーリング	28
国内研修旅行記	32
海外研修	
▲フランスの巻	35
▲ROMA in Italy	36
▲AΘHNA in Greece	37
一般ボ集した表紙のすべて	38
研究室だより	39
編集後記	58

表紙絵 機械科3年 中内一博さん (PC部代表)
コメント「PC部の活動のほんの一部です」

この表紙に使われているコンピュータグラフィックは一般公募したものです。

先達からの備忘録

工学部長 田代勇司



福沢諭吉の有名な言葉に「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず。」があるが、「賢人と愚人との別は、学ぶと学ばざるとに由る。」という言葉は非常に感動的である。人間形成は教育による以外はないことを示している言葉で、この書名に『学問のすすめ』と題された意味もここにある。

大学は学術の中心で専門の学問を研究する所である。しかし、これが一般大学と同じ使命では、私学の存在の意味がない。さらに、この私学の特殊性を生かすことが大切である。この特殊性、換言すれば独自性

こそが九州共立大学の人間形成の力であろう。学祖福原軍造先生もそう述べている。

科学と技術の教育は、あの福沢諭吉先生の説かれた“実学”を離れては無意味である。工学部の諸君は、よくこの点を理解して、先ず基礎教育をしっかり学んで、その後には本学の造詣深い諸先生の下で、底深い科学技術を修得するだけでなく、新しい技術開発をしてもらいたい。

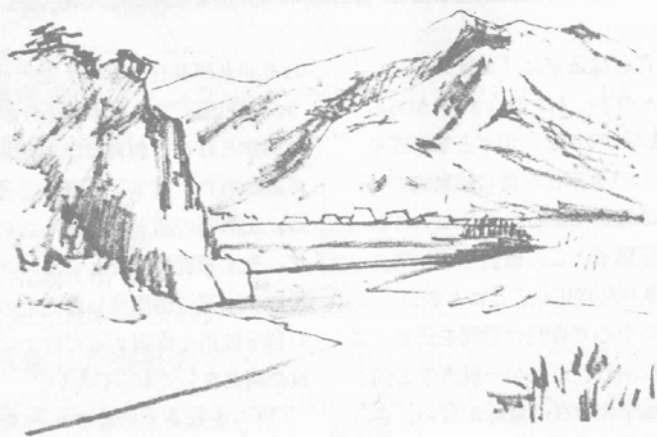
「自らを知るものは英 自らに勝るものは雄。」大学教育は、学術中心のみに偏るのを避けて、真の人間性開発をしなければな

らない。それが九州共立大学では、学祖福原軍造先生の説かれた「自律処行」ということであろう。

小生も学生諸君達と同じ年頃に恩師から度々説かれた。「光陰矢の如し 学成り難し。」と。そして、50才代の半ばになった今、「子曰く、吾十有五にして学を志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えずと。」という孔子の『論語』の教えをつくづく考える。

COMはcommunication、community、companion、そしてcommonなどの英語の接頭語である。それは、with、together、altogether completelyすなわち“皆さんと一緒に”という意味を持っている。とすれば、『COM』は正しく教員と学生の接点である。科学技術の教授も習得も結構、人間形成の教授も習得も結構、気楽に教員と学生が共に『COM』の場で語り合おうではありませんか。

『COM』のさらなる御発展を祈念致します。



平成7年度 九州共立大学工学会講演会

『超常現象の科学と非科学』

超能力をさぐると科学の本質まで見えてくる

★講師：早稲田大学理工学部主任教授 大槻義彦先生

★日時：平成6年10月31日（月曜日）午後1時より

★場所：九州共立大学自由ヶ丘会館4階多目的ホール



工学にかかわる技術者としては勿論、現代を生きていく者としての姿勢や考え方等に対して大変貴重な示唆となった。またテレビ等のブームに踊らされることなく、しっかりと物事を捉え、そして判断することの大切さを改めて思い直す大変良い機会ともなった。

大槻先生のプロフィール

1936年生まれ、宮城県出身。放射線物性、X線・粒子線物性等の研究で著名な物理学者で、特に火の玉の研究で有名。超能力や心霊現象等、オカルトブームに対して、科学者の立場からのコメントをテレビや雑誌等に発表し話題となっている。また、最近ではテレビのCMやバラエティ番組にもよく出演されている。

超能力は本当にあるのか？テレビで盛んに放送される、超能力、UFO、心霊現象等のオカルトブーム。今回の講演で大槻先生は、それらのブームに対して物理学者の立場から科学的に否定し、「やもすると、現在社会（特に日本）は非科学的な、非論理的な、そして不合理な方向へ行こうとするので、文明の価値、性質をきちんと捉えて、社会や科学技術の基盤を創ってほしい」と力説された。今回の講演会は我々にとって、



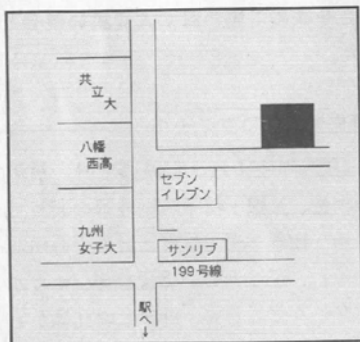
身近な遊び場 知ってるかい

折尾に住んでいて、コンビニあるし、スーパーあるけど、遊ぶ所がまわりがない!! と思ってませんか? あるんだな、これが。今回、皆がよく行く所、穴場などをいくつか紹介しましょう。

折尾スポーツセンター



共立大のすぐ近くにある通称“折スポ”。ここには、バスケなどができるアリーナやジム、温水プー

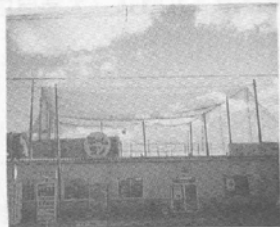


ルなどがある。

体育館は一人2時間200円、温水プールは一人7・8月は260円、他の月は400円、トレーニング室(ジム)は一人2時間300円である。体育館は火・金は個人利用ができ、使用する際は、1週間前までに予約が必要。又、ここではエアロビクスやスイムビクスもやっていて、折スポの年間使用者は10万人を越えている。しかし、使って、後片付けはしっかりとしましょう。当たり前のこと!!

問い合わせ☎691-0812

バッティングセンター

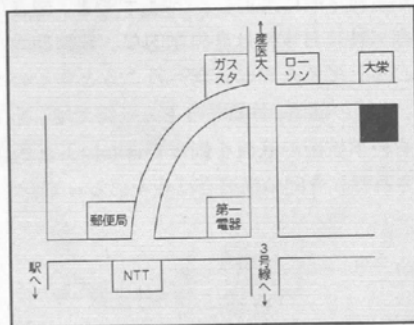


共立大からちょっと離れた所にあつて、団地のそばにひっそりとたたずんでいるのが、このバ

ッティングセンター。

ここは、3月~11月は9時~21時、12月~2月は10時~20時までで、台風や大雨など以外は無休だそう。

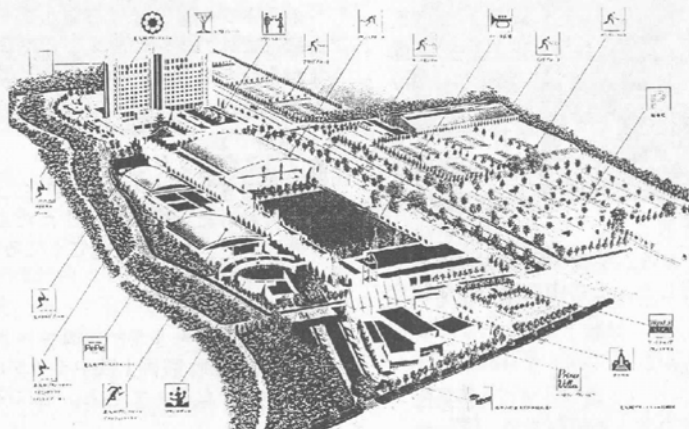
大人は1回26球200円で10回分の券を買うと1500円となり、だんぜんお得なのだ。球の速さは50~130kmで7コートある。ホームランでも打って、スカっとしよーぜ。問い合わせ☎603-4982



★北九州プリンスホテル★

私達がよく言う、通称“北プリ”。皆は単なる結婚式場だと思ってませんか? 違うんだな、これが。今回、北プリを、どんと皆に公開しよう。

10万㎡の敷地に広がるシティ・リゾート。都市生活への新しいスペースです。



◀レストラン・プリンスピラ▶

ランチバイキング1500円、ディナーバイキング2500円で、なんと水曜日は女性は各々200円引き。ちょっと高い気もするが、おしゃれだし、なかなかうまい。

その他、焼肉バイキング、しゃぶしゃぶ食べ放題もある。さあ、ホテルバイキングをお楽しみあれ。

◀プリンスアリーナ・アイススケート▶

冬期限定。夏は多目的スペースとなるアリーナ。滑走料金は1日1350円、2時間1150円。貸靴が350円。1日滑走+貸靴+プリンスピラのランチ=2500円。ディナーの場合は、+1000円と、お得なパックもある。又、B.D.の人は1日滑走無料だ。たくさん運動した後、たらふく食事。いいねえ。

◀プリンスホテル・ベベ▶

ここは、九州唯一の西武ライオンズのショップがある。更に北九州初の「PIAAブティック」がopen。その他、服など販売しており、ちょっとのぞいてみては?

◀多彩なスポーツ施設▶

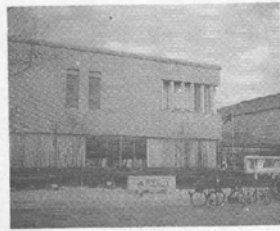
プールやジムなどいろいろあるが、ほとんど会員制。じゃないと高い。ちなみに一般で利用すると、ジム+インドアプール=4200円、サウナ(男性)2700円、テニスコート1面1時間2500円~。

※他にも成人式のイベントやスペースワールドスーパーバス+ホテル1泊=9800円というお得なプランもある。ぜひ一度、行ってみては?

問い合わせ☎631-1111



宗像ユリックス



本館

多目的施設である。平成5年は約88万人もの人々が利用した。その中の幾つかを紹介しよう。

ここ宗像ユリックス（正式名称：宗像市総合公園）は、昭和63年7月にオープンした県内でも名の知れた

★アクアドーム

オールシーズン泳げる温水プール。ガラス越しに外の景色が見え、自然の光を浴びながら、ちょっとしたリゾート気分を満喫できる。

★プラネタリウム

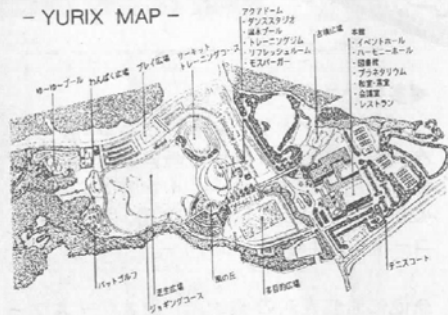
明る過ぎて、星の見えない北九州の夜空。その代わりに、満天の星をたたえるプラネタリウムで、あの人と過ごしてみたい。

★本館

イベントホールやハーモニーホールがあり、音楽や劇、映画上映やライブ、いすを除けばバスケなどもできる。他に図書館などもある。

※その他、バットゴルフや200mトラック、ローラースケートの出来るプレイ広場やジョギングコースなどもある。一度行ってみられては。

- YURIX MAP -



★多目的広場

運動会、サッカー、ラグビーなどできる8千㎡の広場。朝市など、屋外イベントにも利用できる。

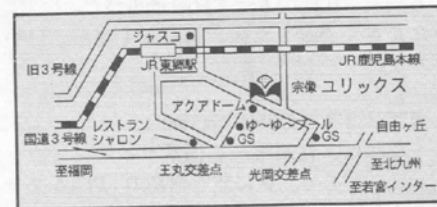
★芝生広場

なだらかな芝生のじゅうたん。元気いっぱいに飛びまわる子供達、にこやかに語り合う恋人達の姿もあれば、グループ、親子でと、思い思いのスタイルでくつろぐことができる、どことなく、懐しい空間の広場である。



風の丘

問い合わせ ☎ 0940 - 37 - 1311



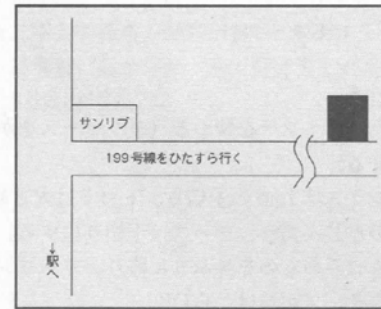
本城公園



この本城公園には、陸上競技場、球場、運動場という施設を持っている。

陸上競技場はうちの大学

の陸上部も使っていて、平成5年度の利用者は、なんと8万人を越えている。12月29日～1月3日以外は無休で、8:00～19:00まで。団体利用する時は、1ヶ月前までに予約が必要。そうでない場合は、その日に、4時間150円で利用できる。運動場は、残念ながら大学生は使えないが、野球場は、毎月10日、13:30から抽選会を行い、予約することができる。ちなみに、球場全体貸し切り1hour2700円である。



ここでは、県や市主催のラグビーや、いろんな大会も行われる。

スポーツ観戦をしたいという人、スポーツをしたいという人、ぜひ一度、行かれてみてはいかがかな。

問い合わせ ☎ 692 - 0886

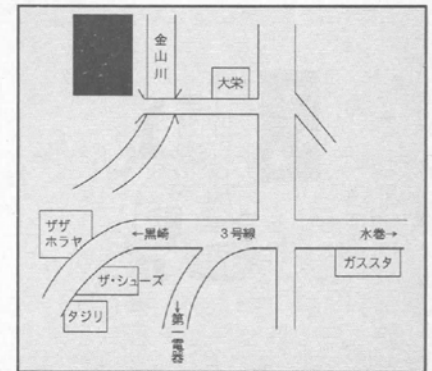
水辺の里



折尾駅から3号線を越えていくと、金山川が流れている。

その一角にあるのが、この水辺の里だ。

いわゆる親水公園で、岸から岸へいろんな所に飛び石があって、水遊びも出来るし、小さな滝もある。夏はその水の音に涼しさを感じることでしょ。又、丸太の机、いすがあって、バーベキューなんかするのもなかなかGood! 春は、桜の並木道があって、最高にきれい。ここは、なかなかの穴場である。ぜひ一度、行ってみたい。そして、自然の中へと溶け込んでみてはいかがでしょうか？



私のおすすめメニュー

大学生！1人暮らし！うーん、気楽だなあ～。がしかし、料理というものがあつたのだ。今まで作ることがないという君、レパートリーを増やしたいというあなた、この特集を見て、料理をやってみては？

機械工学科、合屋 昌樹君のおすすめメニューは、

★シーチキンのそばろ丼

材料

- ・シーチキンの缶詰 1缶
- ・玉子 2～3個
- ・砂糖 小さじ3～4杯
- ・しょうゆ 大さじ3杯

作り方

- ①シーチキンの油をきって、鍋に入れる。
- ②鍋に火をかけ、砂糖としょうゆを入れ、少し煮立ってきたら、溶き玉子を鍋に入れ、汁がなくなるまで、はしでよくかき混ぜてそばろにする。
- ③②をあつあつのだんぶりのご飯にかけて、出来上がり！！



電気工学科、村上 剛一君のおすすめメニューは、

★タコライス

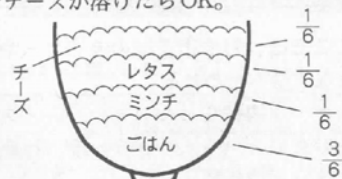
(タコスのパッタモン。沖縄でちょっと昔にはやったもの)

材料

- ・ご飯 丼ぶり2分の1くらい
- ・合びきミンチ お好み
- ・レタス "
- ・トマト "
- ・とけるチーズ "

作り方

- ①合びきミンチを炒める(チリソースをかける)
- ②レタスは1cmの千切り、トマトは大きめのみじん切り、チーズは千切りにする。
- ③これらのものを丼ぶりに盛り、オーブンでチーズが溶けたらOK。



▲盛り方

※チリソース or サルサソース (具入りチリソース) もかける事！

土木工学科、上田 康正君のおすすめメニューは、

★キムチチャーハン

材料

- ・ご飯
- ・キムチ
- ・チャーハンの具になるような冷蔵庫の余り物

作り方

- ①具を炒める。
- ②①にご飯を入れ、一緒に炒める。(味付けはしないこと！)
- ③②にキムチを入れて、軽く炒める。

※キムチの好きな人は、ぜひ、作ってみて下さい。

★工学会委員長、関君が食べた感想
結構おいしかった。一人分で缶ビールを2本飲みました。

建築学科、本間 兆美さんのおすすめメニューは、

★なっとうチャーハン

材料

- ・納豆
- ・卵
- ・ねぎ
- ・ご飯
- ・かつおぶし
- ・しょうゆ
- ・ほんだし

作り方

- ①フライパンを熱し、油をひいて、いりたまごを作り、取り出す。
- ②フライパンにもう一度油をひき、納豆を炒め、一緒にご飯も炒める。
- ③②がパラパラになってきたら、しょうゆとほんだしで味を付ける。
- ④①のいりたまごとねぎを③に入れて、サッと炒める。
- ⑤皿に盛り、かつおぶしをふりかける。



環境化学科、田中 麻記子さんのおすすめメニューは、

★ほうれん草と 白身魚のシチュー

材料 (4人分)

・白身魚	
・ほうれん草	½束
・ジャガイモ	1個
・玉ねぎ	1個
・人参	1個
・こしょう	
・バター	大さじ1
・白ワイン	¼c
・サラダ油	大さじ1
・シチューの素	133g
・牛乳	½c

作り方

- ゆでたほうれん草を3~4つに切る。
- 野菜を1口大に切る。
- 魚は1口大にして、こしょうをふりかけておく。
- 鍋にバターを溶かし、③を重ならないように並べて、ワインを振り、ふたをして蒸す。火が通ったら火を止めて、皮を除く。
- 別の厚手鍋に油を熱し、②を炒めて、水6cを注ぎ、煮込む。
- 野菜がやわらかくなったら、火を止めて、シチューの素を入れて再び弱火でとろみがつくまで煮込む。
- ⑤と①を入れてひと煮し、牛乳を加える。

開発学科、片上 和美さんのおすすめメニューは、

★じゃがいもの パンケーキ風お好み焼き

材料

・じゃがいも	中3個
・玉子	2個
・マヨネーズ	約80g
・バター	10g
・かつおぶし	少々
・ねぎorあさつき	少々
・ソース	少々

作り方

- じゃがいもの皮をむき、おろす。
- ①の汁をきって、溶き玉子とマヨネーズを混ぜる。
- フライパンにバターをひき、②を入れ、両面を焼く。
- 焼き上がったものに、ソース、かつおぶし、みじんぎりにしたあさつきをかける。

※温かいうちに食べると、おいしいよ！



1Fの食堂、自由ヶ丘サービスの店長・池田 岳志さんのおすすめメニューは、

★もやしとえのきの 玉子とじ

材料

・もやし	100g
・えのき	50g
・玉子	2ヶ
・小ねぎ	10g
・塩	少々
・コショウ	少々
・ごま油	少々

作り方

- フライパンをよくあたため、もやしとえのきを炒める。
- 塩、コショウで味をつけ、溶き玉子を上からかけ、小ねぎをのせる。
- 最後にごま油をかけて、出来上がり。
(お好みに応じて、しょうゆ、ソースをかける)



2Fの食堂&レストラン・SHIDAXの店長・山口一成さんのおすすめメニューは、

★ほうれん草のサラダ

材料

・ほうれん草	1束
・ベーコン	100g
・レタス	4~5枚
・オリーブ油	30cc
・塩、こしょう	少々
・ワインビネガー又はレモン汁	少々

作り方

- ほうれん草は、よく洗って水気をきる。ボールに葉だけ手でちぎって入れる。
- レタスも①と同様にして、別のボールに入れる。
- ベーコンはせん切りにして、フライパンにオリーブ油を熱して、カリカリになるまで炒める。ベーコンから出た油を30cc程にして、熱いうちに、炒めたベーコンとともに①のほうれん草に手早くかける。
- レタスを③に加え、更にオリーブ油、塩、こしょう、ワインビネガーをふりかけて、さっと混ぜる。

※ベーコンの油がさめないうちに、手早く、ほうれん草にかけるのがポイント！

30th 霜月祭

'94 11月
1~3日

秋も深まってきた11月の始め、年に1度の大行事「霜月祭」は開催されました。今年は記念すべき第30回目という事もあって前夜祭には「霊はプラズマです。とにかくプラズマです。」で有名な早稲田大学理学博士の大槻義彦教授。ゲストには落語家の林家木久蔵、歌手の井上晴美(!)、バッテン荒川と見どころ満載でした。

さて、去年に引き続き霜月祭の取材を担当した僕、環境化学科3年の荒井は今年もカメラ2台(1台は学校のカメラ)にビデオカメラ、三脚を片手に特ステ・サブステ股に掛け、霜月祭の企画のほとんどを一人で見て回りました。霜月祭に来た人ならTシャツ姿にカメラを下げ元気に走り回っている姿を一度は見かけた事でしょう(単にバカだという噂も……)。

そして取材を終えいざ記事を書こうとした時、重大な問題が発生しました。この3日間どんな事があったかそのまま書くと去年書いた記事と同じような内容になってしまうのです。(読んでない人は去年のCOMを見てください。)

そこで今年新たな企画を考えました。題して『霜月祭 何でもベスト3!』

これは霜月祭であった企画などの中からとにかくベスト3を決めてしまおうというもの、あくまで僕の独断で決めたものな

ので順位に深い意味はありません。その辺はご了承ください。それでは第1回、霜月祭何でもベスト3、スタート。

まずは模擬店部門から行ってみよ～

◎模擬店で多かったメニューベスト3

- 第3位 おでん 6店
第2位 焼きソバ 7店
第1位 焼き鳥 9店

これはほぼ予想通りの結果でした。まあテキ屋によくあるメニューでハズレが少ないという点でしょう。しかし注目度の点ではありふれたメニューより独特なメニューで攻めた方が点は高いでしょう。そこで次は逆に

◎珍らしかった模擬店ベスト3

- 第3位 (店名)
○ガンベンズ……………小物販売
○かおるちゃん……………同
第2位
○デビルズクロー……………ムルタバ
第1位
○弓道部……………的当て
○いまかつクラブ……………的当て
○漫画研究会……………ゲーム
○少林拳法部……………水・風船釣り

これこそ順位の付けがたいもので、他にもハンドボール部のオムソバ、李夫人の手作りコロケ、沖縄県人会の沖縄そば、などなど挙げればキリはありません。2位のデビルズクローはスペイン料理のムルタバという珍しいメニューを出した点を評価しました。1位の4組は他の店が食べ物を出している中、祭にはなくてはならない的当てなどのゲーム的要素を出してくれた点を高く評価します。

以上模擬店ベスト3でしたが、これはあくまでメニューについての評価で実際はメニュー以上に店がまえから勧誘、宣伝方法、サービスなどはそれぞれ多種多様で、どの模擬店もしっかりしていると思いました。という訳で模擬店の総合評価ベスト3は行いません。

さて続きましてはステージ企画部門に移りたいと思います。が、ページ数の都合(ネタ切れとも言う)により一部門のみにさせていただきます。

◎ステージ企画 注目度ベスト6

- 第6位 3 on 3
今流行のミニバスケットでサブステージ前をにぎわしてくれました。
第5位 共立ウルトラクイズ 3日
今年は7才の女の子が準優勝まで勝ち進むという快挙が成し遂げられました。

第4位 沖縄エイサー 毎日
やっぱり今年も健在、民族芸の勝利と云った所でしょう。

- 第1位 ばってん荒川 1日目
同 大槻教授 前夜祭
同 井上晴美 3日目
同 林家木久蔵 2日目

4人ともその筋ではどれも名の通った人ばかり、今年の学園祭の力の入れぐあいがうかがえます。

番外にも「ねるねるとん'94」「三輪車レース」「ミュージックストリート」「コブタレース」「絶叫大会」。そして秘かに人気を呼んだ「美人の狂演 ウハウハ60分」など楽しい企画がいっぱいでした。

よく「学園祭期間中は授業がないからどこかに遊びに行く」とか「実家に帰る」とかいった話を耳にしますが、あえて自分の大学の学園祭に足を運ぶというのも悪くないと思います。また学園祭に来ている人たちももっと進んで企画に参加してみよう。霜月祭を盛り上げるのは我々学生なのだから……。



Making of 霜月祭

我が九州共立大学の学生にとってもっとも大きなイベントとは何だと思いませんか？それは11月1・2・3日に行われる霜月祭ではないでしょうか。それではこの霜月祭がどのようにして運営されているのか、皆さんは疑問に思ったことはありませんか？今回はその霜月祭の裏側にせまってみたく思います。

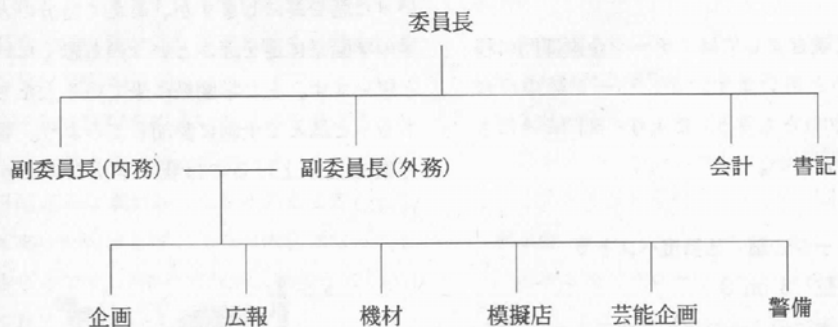
みなさんは霜月祭がいつ始まったのか知っていますか？ちなみに第1回霜月祭が開催されたのは1965年(昭和40年)です。それ以来、霜月祭はどんどん発展して、今年

で第30回を迎えました。霜月祭は学友会の大学祭実行委員会の人たちによって運営されています。ではその大学祭実行委員会とはどのような所なのでしょうか。

第30回霜月祭の実行委員は、全員で54人います。大学祭実行委員会は、下図のような組織になっています。

委員長-大学祭実行委員会のリーダーです。

副委員長-副委員長には内務と外務があります。



内務-会議の司会や学校側との会議など学内の仕事が担当です。

外務-他大学との会議など学外の仕事が担当です。

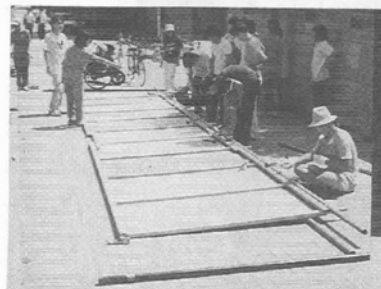


サブステ設置の風景

それでは次に霜月祭ができるまでを紹介しましょう。

- 会計-学祭費の管理をします。
- 書記-会議の内容や実行委員の住所など、様々な情報を記録します。
- 企画-霜月祭で行う企画の制作、進行をします。
- 広報-パンフレットやポスターを作成したり、霜月祭の宣伝をします。
- 機材-ステージの設置、備品の作成などをします。模擬店の機材の貸し出しもやります。
- 模擬店-模擬店の受付、管理をします。
- 芸能企画-霜月祭に呼ぶ芸能人の企画などをします。
- 警備-当日の警備をします。

- 4月 新入生勧誘、部署決め
- 5月 広告をとり、パンフレット・ポスター作成開始
- 6月 企画制作開始、芸能人選出
- 7月 看板作成
- 8月 看板作成、警備配置割り振り
- 9月 看板設置、備品確認
- 10月 ステージ設置、企画リハーサル開始、サブステ企画開始
- 11月 霜月祭開催
後片付け、次年度役員選出
- 12月 次年度役員決定



夏休みのカンバン設置の風景

以上が霜月祭のできるまでです。これを見て、思ったよりも長い時間をかけていると思った人もいるのではないのでしょうか。当日のハデさに目をうばわれてしまいがちですが、準備はこんなに大変な仕事なのです。

これまでで、大学祭実行委員会の事が分かってもらえたでしょうか。大学祭実行委員の皆さんは、たった3日間のためにこんなにたくさんの努力をしていたのです。もしかしたらこれを読んで、少しでも霜月祭に対しての考え方が変わった人もいないでしょうか。

大学祭実行委員会の皆さんは、「お客さんに喜んでもらえれば、それが最高の報酬です。」と言っていました。もし今年参加できなかった人は、ぜひ来年の霜月祭に行ってみてはどうでしょうか。きっととても良い思い出になると思います。



大学祭実行委員のみなさん、おつかれさまでした

「学祭ジャンパー」に対して
「COM ジャンパー」を作ろう、
という案だけある。
求ム デザイン。



テーマ
「燃える
工学会
ダイマイト
エンジン」

工学会の運営委員も

頑張ってるんだぞ!

工学会の運営委員のほとんどは、工学会としてではなく、他の団体として、霜月祭で活躍しました。そんな、人たちを特集しちゃえ〜。



まずは、工学会編集長、3年開発学科の門田さん。彼女は茶道部として、去年に続き今回も第2学舎前で、お茶を売っていました（そのままやんげ〜）。おいしかったです。そして、次は、3年開発学科の楢原さん。彼女は環境サポートチームで、からあげ&ポテトフライを売っていました。もちろん、手作りで（手作りといっても、からあげの鳥は、ひなから育てた訳ではなく、ポテトのジャガイモも栽培したわけではない）、目の前で揚げてくれました。売上げは上々だったそうです。2年電気学科の佐々木君は、毎年恒例のフォークソング部のフォーク喫茶でギター片手に歌を歌っていました。3年開発学科の片上さん、2年開発学科の安田君は学園祭実行委員として、2年電

気学科の井本君は総務委員会として、霜月祭を裏方として支えてくれました。本当にご苦労さんでした。詳しくは、メーカー・オブ・霜月祭を見てね。

そして、最後は、何と言ってもやっぱりこの人。キングオブ目立ちたがり屋、イベント大好き工学会運営委員長長の3年開発学科の関君。彼は本当におっとこ前ですばらしい才能の持ち主です。……さすがにこれ以上自分で自分の事は書けません。だって、僕は小心者の恥ずかしがり屋の照れ屋さんだもん。と言うことで、2年開発学科の杉山君にタッチ。

何で委員長の事を書くのが俺やねん。と言いつつ、書きましょう。まず、演劇。関君が出演する演劇をほとんど観た僕ですが、やっぱり、おもしろかった。演劇というのは暗いイメージがあったが、そんなことは全くなく、笑いばなしの90分間だった。今回の公演が、引退公演と言うこともあって、かなりの思いのようだ。夏休みから記念館の上で一人で練習をしていたのを僕は知っている。今までのすべての公演の主役を動めた彼だが、普段、大男であやしいルックスからは、想像もつかないほど、華やかで輝いていた（女性に持てる訳やね）。演劇をしていたと思えば、今度は特設ステージでのライブ。歌いまくって、踊りまくっていた。ライブハウスなどで、活躍中

ということもあり、なかなかの仕上がりを
見せていた。演劇とは違う一面を見まし
た。演劇とバンドは、1年生の時から、霜月
祭で、やっていたが、今年から新たな試み
として模擬店にまで手を出していた。



デビルズクローというインド料理の怪し
い店を出していた。僕も、店員をさせられ
ました。店では、殿と呼ばれていた。経営
者の分際で、店にはほとんど顔を出さず後
輩や友達に任せっぱなしでも、みんな文句
も言わず、もくもくと働いていた。どうし
て、みんなは給料もないのに楽しそうに働
いていたのだろう。関君に模擬店を出した
理由を聞いてみた。「みんな、何かをしたい
と思っている。だけど、行動に起こさない
から、そのきっかけを与えただけ」と、言っ
ていた。彼は結構良い人かもしれない。そ
んな君を許せない。とにかく、霜月祭では
大忙しの関君でした。やるときは、ここぞ
とばかりにやり、すごい人だと思っていま
うときもある。

関 英太郎

学園祭とは

私は、小学生のときから、学校で行われ
る文化祭というのが大好きで、色々な展示
をみたり、ゲームをしたり、お店を出したり
して、楽しんでいました。小・中学生や高
校生の時は、クラスで話合い、結局、強制的
に何かをしなければいけなかった。嫌な顔
をしていた友達も、当日模擬店などが忙し
くなると、いつの間にか夢中になり楽しんで
いた。普段の学園生活とは違い、気の知
れたクラスの友達と一緒に何かをする。展
示用の絵を描いたり、演劇の練習をしたり
…。数日間だけ学校は、いつもの学校では
なく、みんなの夢の世界へと変わる。では、
大学の学園祭とでは、どのような違いがあ
るのか。大学祭には、強制的な要素は、ほ
とんどなく、みんなが自主的に何かをでき
るということである。結局、今まで以上に、
夢に近づくチャンスだと思う。夢というの
は、見るだけではなく、実現させるものだ
が、一生「夢の世界」にいることは、現実問
題として、とても難しい。だから、学園祭
という、数日間の世界が存在するのだと思
う。年々、霜月祭は、大学祭実行委員など
の活躍にもより、盛り上がってきたように
思えるが、一方では、アルバイトをしたり、
帰省したりする人がいるのは事実である。
それが、悪いという権利は私にはないが…。
学園祭だけがすべてとは言わない。何かし
ようよ、みんな！楽しい思い出を創るんだ。

料金所がなくなった

阿 蘇

木の生まれる場所を訪ねて

昨年9月「やまなみハイウェイ」が「県
道別府一宮線」と改名、県が道路公団に
替わり管理するようになった。要するに、
サブタイトルの通りになったのである。当
時ちょっとした話題になったので行かれた
方も多いのではないだろうか。実際交通量
の増加も見られたらしい。阿蘇の活性化に
大いに役立ったはずである。多少問題を残
しながらであるが、阿蘇の大自然は利用者
からお金を徴収することによって、あの道
が存在することを許してきた。これからは
県の肩にかかっている。(あー草かり大変
そう)

ということで今回もCOMは阿蘇をテーマ
としたページを設けさせていただいた。以
前からCOMでは多くの者が阿蘇をそれぞ
れ描いてきた。私も感じるものがあって
少々お付合願いたいと思う。どうぞよろ
しく。

「かかった費用を
回収できたのさ……」
当り前のはずなのに
な驚いてしまう。



近年、環境問題が持てはやされている。
何をすることも自然が動物がと騒ぐ。皆何を
守ろうとしているのだろうか。反対するの
は従来住んでいる人々、勤めるのは外から
見た人々、便利になるのは周りに住む人々。
壊される自然を巡って多くの人の感情が交
差する。

熊本県は阿蘇郡、産山村。やまなみハイ
ウェイ（個人的にこの名が好きなのでち
らで呼ばせていただく。）のメインロードか
ら脇道に入っていく。見はらしの良かった
阿蘇独特の景色がだんだん従来の山の景色
に戻って行く。もっと奥へ進むとそれは神
秘的な様相を醸し出してくる。

それを確信した時、清冽な水が生まれて
いる所に来ていることに気づく。200年以
上も生きてきた巨木に見まもられ清らかな
水は、ふつふつと生まれては大地を潤して
ゆく。「山吹水源」である。毎分30トンも
の水が湧き出てくる。

人間の生活で汚された水は海で清めら
れ、空に昇り阿蘇に降り注ぐ。それは雄大
な地によってさらに清められ、育かれ、

また我々の前に現れる。

人間が自然と共に歩んでいる時まではどの地でもそれぞれ当たり前のように行われてきた。まず、ひどく木を汚すこともなかった。御存じではあろうが。

土地を開発するに当って今まで、まず便利になるよう、かつ経済的という事で行われてきた。やっと最近になって、まず環境保護を考えるようになった。今までは付け加えてしてきたのだ。

山吹水源の湧水地の中央には“水神様”が祀られている。昔、人々はその地に神をみたのだ。今を生きる私にも感じることは出来る。何か大きな者の力によって為されている。

もう少し飛躍すれば、我々には、「枕草子」の、四季のかしを理解し、稚児のかわいらしさに目を細める。「源氏物語」に、女達

はこころを痛め防人の妻に同情をする。今も昔も人の心は基本的に変わらないのである。

話を元に戻せば、従来住んでいる人々は、先祖が見た神とそれを取り巻く自然の思い出を守ろうとし、勧める人々は、それを分からなくてはならないのだが、現代を見つめ前に進もうとし、周りに住む人々はそれを見守り、色々と思ひ巡らす。

もしこの様な水源が、ダムに沈む様になった時、高速道路が通った時、どう答えを出すのだろうか。ここは環境庁指定名水選に選ばれているので、まずありえないが。大切にされて来た多くの河、池、土地が開発の波に押し潰されてきた。そして今までに潰されているのだ。それは世界中で起っている。



長々と大して意味もない事を書かせていただいた。最後に阿蘇は自然だけでなく、人もすごいぞ！という事を知っていただくため、阿蘇のイベントを御紹介しておこう。(平成6年度一部)

「春」

- 阿蘇の火まつり：3月
- 野焼き：3月（阿蘇地方）
- 中江の岩石神学定期公演：4月～11月
- 高岳山開き登山大会：4月
- 杖立温泉のぼりまつり：4月～5月
- わらびマラソン大会：4月
- マゼノ共和国春まつり：5月
- 仙酔狭つつじ祭り：5月
- 悠木の里めぐりマラソン大会：5月
- 阿蘇山上「ミヤマキリシマ」フェスト：6月
- 高岳花見登山：6月（一の宮町）
- 阿蘇カルデラスーパーマラソン：6月



「夏」

- 八坂神社岩戸神楽：7月
 - おんだ祭り：7月
 - RV フェスティバルSOYO：7月
 - 国際青少年音楽フェスティバル：8月
 - 水の甘まれる里名水まつり：8月
 - 地獄垂火焚神事：8月～10月
 - ラストサマーファンタジー：8月
 - 火伏地藏大祭：8月
- 他

「秋」

- ワイルドウエストファットタイヤサーキット：9月
 - クイズ登山ファミリー大会：9月
 - 温泉感謝大名行列：10月
 - 大阿蘇航空祭：10月
 - 全国勤労者ふるさと交流会：10月
 - 西原ムラおこしオープンゴルフ大会：10月
- 他

「冬」

- 横掘の岩戸神楽：11月
 - 大阿蘇クロスカントリー大会：11月
 - 九州学生駅伝対抗選手権大会（共立大陸上部参加）：
 - 大阿蘇全国凧あげ大会：1月
 - 二瀬本夜渡神楽：1月
- 他

等々、ぜひこれに合わせて行かれることをお進めする。

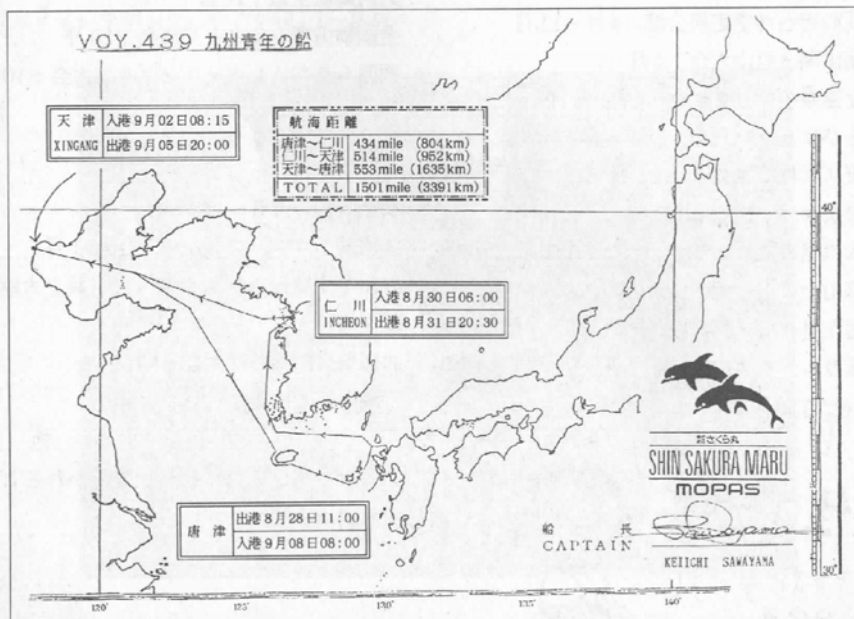
九州はひとつ

— 自分の目で、肌で、手で —

工学部開発学科 片上和美

期日	内 容	場 所	期日	内 容	場 所
7/17~19	県内一次事前研修	篠 栗	9/ 2	日中青年交流会	天 津
7/25	県内二次事前研修	吉 塚	3	目的別訪問研修・市内参観 天津から北京へ電車移動	天 津
8/5~7	総合事前研修	阿 蘇	4	北京ウォーキング	北 京
8/27~9/8	本研修		5	万里の長城見学	北 京
8/27	出航準備	唐 津	6	北京ウォーキング発表会	船 内
28	出航式 ウェルカムパーティー	船 内	7	総括発表・さよならパーティー	船 内
29	韓国事情・ハングル研修	船 内	8	帰港式	唐 津
30	日韓青年交流会	ソウル	10/1~2	県内事後研修	博 多
31	目的別訪問研修・市内参観	ソウル	10/8~9	統一事後研修	宮 崎
9/ 1	中国事情・中国語研修	船 内			

船……新さくら丸 (17,389 トン)



平成6年の夏、私は第22回九州青年の船の事務局員・団員あわせて総勢416名の中の一員として、中華人民共和国(以下中国)の天津・北京と大韓民国(以下韓国)のソウルを船で訪問しました。団員の大半は20歳代で社会人が多く、学生は1割程度でした。船に乗る目的はみんなさまざまで、自分にはない考え方や見方をする人の意見を聞いて感心することが多くあったように思える。しかし、九州8県(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)や中国、韓国に多くの友人ができ、みんなとの本研修の期間はとても有意義なもので今思えば12日間はとても短いものでした。

私が体験してきた幾つかの出来事を場所・行事別に紹介しましょう。

《事前研修》

6月、7月、8月と三ヶ月にわたり本研修でどのようなことを行うかということと訪問国事情や語学を中心に学びました。そして、団体行動の訓練もしました。初めて会う団員に戸惑いやうれしさに気持ちは複雑でしたが、本研修を自分にとっていいものにしたと思うのでした。



《本研修》

約12日間の本研修は唐津から始まりました。吉塚にある福岡県庁前からバスに揺られること1時間半、佐賀県唐津港に着いたところ、もう先には各県のバスが到着しており、大きな荷物を持った班員を見つけては手を振って再会を喜んでました。これから何が起こるか分からない不安感と期待感で胸がいっぱいになりながら、「新さくら丸」に乗り込みました。出航式においてはOBの方々が各ブロックごとの団員の名前を大きなプラカードに書き、応援の意味を込めて見送りに来ていただきました。そのプラカードに自分の名前を見つけてはみんな喜び、船から投げた色とりどりの紙テープが滝のようになっていたのがとても印象的でした。船の中の生活はとても快適で過ごしやすいものでした。私の部屋は4人部屋で2段ベッドが2つとロッカーが各1つずつ、洗面台がありました。設備等も整っており、空調は寒いくらいに効いていました。食事は朝・昼・夜間問わずとても豪華でデザートまできちんと付けていました。そして、ウェルカムパーティーやさよならパーティーではお酒が出たこともあってか友人は顔を真っ赤にして上機嫌でした。しかし、こんな生活をしていましたが、一つ困ったことがあったのです。それは船に乗ってしばらく船内で迷子になってしまうことでした。船内は孤立した建造物で迷うことはないだろうと思っていましたが、かなり広く、さまざまな所にたくさんの階段が

あって目的地（ホール）に着けなかったり遠回りしたりとなかなか大変でした。

船の中の出来事はさておき、大陸に着いてからの話をしましょう。

第3・4日目には韓国ソウル市に滞在しました。特に思い出深かったのは「日本韓国青年交流会」と目的別研修で統一展望台に行ったことです。

「日本韓国青年交流会」では九州各県が地元の伝統芸能を行い、韓国の青年達は古楽器演奏を披露してくれました。我々、福岡県団は考えた末に今年（1995年）開かれるユニバーシアード福岡大会音頭である「U・友・YOU（ユーユーユー）」と博多どんたくをミックスさせたものを各々浴衣やハッピ、全長3メートルものユニバーシアードのマスコット「カパパー」人形を着て踊りました。そこで、私は福岡県団の紹介を日本語とハングルですることになっていました。交流会前日にはこの船に同行していた通訳の方にマンツウマンで教えていただ



日韓青年交流会にて

きましたが、語学嫌いの私には本当に教えられた通りに話せるか心配でかなりのプレッシャーを感じ、文章が書かれてある紙はソウルにいる間ずっと手にもち読む練習をしていました。終わったときはとてもうれしく県団のみんなと一緒に喜んでくれました。しだいに会場が盛り上がり、最後には班や県、国に関係なくみんなで肩を組んで「We Are The World」を合唱し、ここまで心一つになれるのかと驚きました。

次は目的別研修についてです。これは10コースの中から希望するコースにおいて韓国のそれぞれの分野の実情を理解する目的の研修です。私は国際理解コースを希望し、南北国境付近にある鳥頭山統一展望台に行くことになりました。同じコースを選んだ人の中には「板門店に行きたかった。」と言う人が多かったようです。着くまでにソウル市からバスで約2時間かかりました。ぼーっとバスの中から外を眺めていると鉄条網や監視台が見え始めるといつしか心の中に「近づいてきたんだ」という緊張感がありました。そして、到着したと思ってみるとそこは駐車場でした。直接展望台に行くのではなく駐車場からシャトルバスに乗って行く方法が取られていました。周辺は物々しい警備で写真撮影においてもかなりの規制があって、ガイドさんの指示をよく聞かなければならない状態でした。館内をしばらく歩くとベランダのようなところになりました。そこからは軍事国境線がわりの

イムジン江、向こう岸には北朝鮮の小さな村が見えました。そして、音楽が向こう岸から聞こえてきました。ガイドさんによれば「カモフラージュの村なんですよ。北朝鮮がこれだけ発展していると宣伝をしているんです。」と話されました。向こう岸をよく見てみるととても新しい建物が多く、人影はほとんど見えませんでした。同じ民族が見えない国境線で北と南に分かれて、文化・工業等の発展を争っているのです。地元の人達にとってみると「早く統一してほしい」と悲願しておられるが、平和に暮らしている私たちの日本にはそのような国境線はありません。もし自分がこのような立場であったなら、とても悲しく思ったことでしょう。向こう岸を眺めながら少し物悲しく思えました。離れ離れになった親族に会えるのはいつのことになるのでしょうか。早く統一されることを願うばかりです。

また、市内参観において景福宮やソウルタワー、南山公園に行きました。また、昼食に本場の焼き肉やキムチを食べ、とても幸せな気分になりました。

そして、第6日目から9日目までの4日間、中国に滞在しました。訪問した都市は天津と北京でした。天津では主に日中青年交流会（座談会とスポーツ交流会）が行われました。座談会は4つの会場に別れており、私たちの班は天津外国語学院を訪れました。座談会が始まる前に班の人とトイレに行きました。OBの方から「中国のトイレに行ったら驚くよ。」と聞かされていました。

トイレに行くとドアがなく、腰まである仕切りしかなかったのです。立ってみれば隣の便器が見えるという状態で水洗トイレは紙を流してはいけなかったみたいで区画されたトイレの隅に使用済みの紙が積んであったのです。あまりきれいではありませんでしたが、経験としては文化に触れることでよかったのではなかったかと思いました。座談会では私はある中国青年といろんなことを話しました。話すといっても私は中国語で自己紹介と挨拶くらいしかできません。相手の青年は常征といい、日本語を専攻している学生でたった1年間の勉強で話す日本語がとても上手だったので非常に驚きました。私がかも中国語を1年間勉強してもそんなに話せないだろうと思いました。話の内容は日常生活や学生生活等についてです。中国の学校は9月から始まり、6月で終わるそうです。現在、校内の寮に住んでいるということでした。朝の6時から校内の広場で本を読み、授業を受け放課後は勉強しているといっていました。かなり



ソウルタワーにて

の勉強家だと思いましたが、中国では当たり前のことだそうです。日本の大学生とは違うと思いました。常征は「いつか日本に行きたい。」と話してくれました。私もまた中国に行き、常征に会いたいと思います。他には雑技参観をしたり、朝からホテルの前の広場でラジオ体操がわりに太極拳を見様見真似でしました。目的別研修では福祉コースを選び、養老院を訪れました。ここではかなりの日本との違いにカルチャーショックを受けました。そして、7日目の夕方に天津駅から列車游6に乗り、約2時間かけて北京駅にきました。着いたころにはどっぷり日も暮れて、北京駅はライトアップされていました。次の日(第8日目)、朝早く天安門広場に行きました。まる半日かけて北京市内を散策することと地元の青年との交流を目的とした北京ウォーキングが行われました。私のペア班(40人)は4つのグループに分かれました。各グループに3人の現地の青年が入ることになりました。計画は自分たちで決めることになっており、



天津市内にて



故宮にて

天安門広場～故宮～景山公園～王府井大街～琉璃廠～天安門広場という順序になりました。故宮は映画「ラストエンペラー」の舞台にもなった所で、全部を見て回るには広すぎて大変でした。通り抜けて景山公園に行く予定が、どこでどうなったか折り返してしまい入り口に戻って来たときには12時を過ぎていました。しかし、12時30分に王府井大街のホテルでペア班全員で昼食を取るようになっていたのです。ホテルに行くまで何分かかるかわからないのでタクシーで行こうとしました。地図上では近そうだったので歩いていきました。1時間も遅れてホテルに着いたころにはほとんどの人が食べ終わった後でした。とても疲れており1時間半もホテルにい、時間がないということで計画を取りやめ、王府井大街でショッピングを楽しみました。やはり日本と違い、物価が安いせいか物が安く感じられました。大きいデパートやマクドナルド、ケンタッキー等が通りにあり福岡でいえば天神みたいなものでした。結局、天安門広場に帰る時はタクシーを使いました。思うぞ

んぶん歩いたなぁという思いしかありませんでした。大滞在最終日は万里の長城に行きました。ヤングコースと老人コースがあり、まだ若い私はもちろんヤングコースを歩きました。傾斜45度以上でかなりきついものでした。あまり時間がなく、すぐに降りて来てしまいましたが、空気が澄んでいておいしいと思ったことが記憶に残っています。



万里の長城にて

帰りの船の中ではこの研修を通して、どうであったかという総括研修が主に行われました。またその他に各ペア班で出し物をした九船まつりやさよならパーティーがありました。さすがに帰港式では13日間一緒に過ごした友人と別れるのが辛く、泣いてしまいました。このスペースでは書ききれないことや写真がたくさんあります。

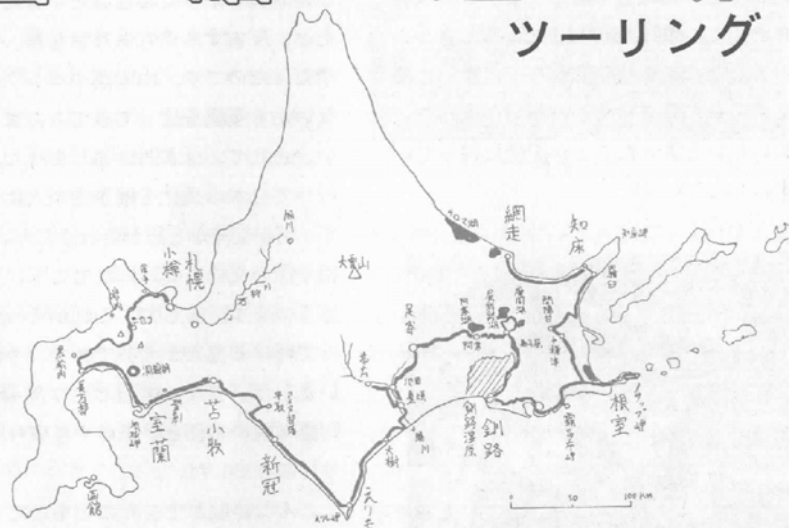
《研修を終えて》

この13日間の日程を終えてみると、あっという間に過ぎてしまいました。うれしいことや楽しかったことはたくさんありましたが、反省する点もありました。それは語学だったのです。中国語やハングルを話せないから英語を使ってみてもあまり通じない。まして、日本語は通じません。外国に行って日本の文化を相手国の人に押し付けて、何が交流かと思われました。やはり、相手国の文化を受け入れてこそ、交流だと思のです。そして、これから一生付き合っていく友人が大勢できて、うれしく思いました。また、中国で知り合った天津外国語学院の常征と手紙のやり取りを行うようになりました。

こんな経験ができたことをとてもうれしく、九州青年の船がきっかけで自分の中の何かが変わって行くことを期待しています。



言語

北海道横断
ツーリング

まだ暑さの盛りである8月12日夜、岡山(実家)から京都経由で舞鶴港に着いた僕は輪行バックに分解した愛車『ブルーマウンテン』号を携え、瀬戸内海を走る船の数倍はあるかという巨大な客船に乗船した。新日本海フェリー所属大型客船“ライラック”。この船は舞鶴→小樽間の約1200kmを30時間で走る。

夜23時半出港、陸地を離れるにつれウソのように星が見えてきた。ちょうどこの日はペルセウス座流星群の極大日で1時間に10数個の流れ星を見る事ができた。おまけに翌日の夜船内のイベントのカラオケ大会で特別賞をもらうなど、北海道上陸を前にして順風満帆といった所だった。

ところが出発3日目、朝4時小樽港に上陸して見たものはどんよりとした雨雲だ。そ

して港ターミナル横で自転車を組み立てていると、ついにポツポツと小雨が降って来だした。西日本では記録的な水不足で誰もが首を長くして待ち望んでいた雨がこうもあっさり降るとは……。改めて日本の長さを感じさせられてしまった。(この旅行から岡山に帰ってもまだ雨は降っていない。)

雨が本降りになってきたので自転車が完成すると一時小樽駅へ退避。そこで会ったチャリダー(チャリンコライダー、略してチャリダー)の人に聞いた話では昨日までは内地(本州の事)と同じようにイヤになるほど晴れていたらしい。

しかし、この雨のおかげで同じく小樽駅で雨宿りをしていた中央大学(!)の石川哲也君と知り合う事ができた。

幸い昼ごろ雨は弱くなったので先に出発

した石川君を追いかけるような形で国道5号線をニセコに向かってこのツーリングのスタートを切った。雨のためにつまらない走りになるかと思ったが、休憩に止まった余市が何とあの毛利衛宇宙飛行士の故郷だったり、峠で立ち寄った小さな市場であの夕張メロンをごちそうになったり、ニセコ駅で石川君と再会できたりと盛りだくさんの1日だったと言えよう。



羊蹄山

次の日は幸いにも晴天。羊蹄山、ニセコアンヌプリを両片に絶好のサイクリング日和だった。この先えりも岬までまともに晴れたのはこの日ぐらいだったと思う。

ニセコで分かれて以来石川君と会う事はなかったが、今度は黒松内で岩内から走って来ているという3人の高校生と出会った。

左から
渋川君、遠藤君、前川君、“僕”

実はこの3人が僕と同じ漫画部をやっているという事で意気投合してしまい、洞爺湖までいっしょに走り、彼らは岩内に帰るため別の道に分かれて行った。

かと思うと今度は分かれた日泊まった宿で同室になった法政大(!)の池澤君と知り合い、行く方向が同じだからしばらくいっしょに走ろう、という事になった。

室蘭からえりも岬までは天気もあいかわらずで、とにかく距離をかせごととペースを上げた。とは言っても見る所はしっかり見て、登別でイルカショーを(生まれて初めて)見たから苦小牧で泊まる所がなくなり24時間営業のレストランで夜明けを待ったかと思うと次の日は平取アイヌ部落で菅野氏を見かけ、なおかつ120kmを走り抜いたりもした。それでもえりも岬に着いた日は当初の予定より4日も遅れてる。

ここで泊まったえりも岬 Y H は北海道4大クレイジーユースに数えられているらしく、実際夜のミーティングで泊まり客で歌ったり踊ったりと(楽しい意味で)クレイジーだった。

結局この居心地のいいユースに2泊し、ここで知り合った立命館大(!)の小川君も仲間に加えた3人で東北北海道を走る事となりました。(ちなみにこのタイトル、言語道断ツーリングは池澤君が言い出したものです。)

左から
小川君、“僕”、池澤君

えりもまではほぼ予定通りのコースでしたが、えりも以降は3人ともスケジュールはあいまいだったため、あっちへ行ったりこっちへ行ったりでかなり蛇行してしまっただ。特にそれが激しかったのが豊頃で、豊頃の前田さん宅には2日も泊めていただく事になってしまったけど、そのおかげで見上げのようなハルニレの木やワイン城など付近の観光地はかなり見て回る事ができた。

後半、道東こそいかに北海道という風景が続いた。マリモで有名な阿寒湖を始め世界一透明な摩周湖。どこまでも広がる釧路湿原の緑の台地。北方四島を望む根室ノサップ岬。330度緑の地平線が見渡せる開



ひたすら真っすぐな中標津の道路



幸運にも晴れていた摩周湖

陽台。特に中標津では道路が3時間ひたすら真っすぐという、チャリダー殺しの道路もあれば、越えるのに1日掛かった羅臼、知床間の知床峠もあった。

自然がきれいだといえどおいしい食べ物と温泉が付きもの。まずは池田駅前で売っている十勝牛のステーキ弁当、十勝に来てワインと十勝牛を食べない手はないというぐらゐ肉汁たっぷりの肉です。次は日本有数の漁港がある釧路、和商市場。取り立ての魚介類をその場で丼にしてくれるこの市場でお進めメニューはウニ、イクラ丼。日本最東端にあるノサップ岬はノサップラーメン。何とモガニ、花咲ガニ、トラバガニの3匹のカニがドカッと乗っかっているのだ。そのボリュームたるやカニまで全部食べ切るのに2時間近く掛かってしまった。最後は北海道広しと言えど羅臼でしか食べる事ができないというトド肉料理、牛でもない鳥でも豚でもない独特な味の肉だった。この他にも北海道のいたる所で売っていた牛乳、チーズ、アイスクリーム等の乳製品は僕ら3人が一休みしようとする先々でそれを待ち受けるかのように点在していた。

そして温泉は火山の多い北海道の事、洞爺、ニセコ、長方部、阿寒、と至る所に点在していましたがその中でも変わり種の温泉としては知床半島のカムイワッカ温泉という温泉が川となって流れている物です。この温泉に入るには岩場を登らなければならない、高所恐怖症の僕は残念ながら途中でリタイアしてしまっただ。一応は途中にある天然の岩風呂に入って温泉を味わう事ができたが、この温泉を堪能するには高所恐怖症を克服する必要があるとそうだ。

知床峠が事実上最後の難関となった。羅臼側から濃霧の中を登る事3時間、標高750mの知床峠頂上に着いたのは昼過ぎの1時35分。頂上から知床側にかけては天気も

一変し、雲に包まれた頂上部を後ろに、登りに3時間を要した標高750mをわずか15分で走り抜けた。この時の最高時速52km、それでも阿寒湖からのひたすら真っすぐな下りで出した70kmには及ばない。

知床に着いてからは知床岩尾別YHに宿を取ったが、実はこのユースも前のえりも岬YHに並ぶクレイジーユースの1つで、やはり夕食後には歌や踊りのにぎやかなミーティングが待っていた。

そして知床こそ自然の宝庫だった。まずは知床五湖、摩周湖よりは小ぶりだが、そ



知床五湖

の湖面は鏡そのもの。カムイワッカの滝は先に書いた通り。そして五湖や滝に行くための道知床林道は未舗装のダート。軽装で走れば大自然の中でラリーでもしているかのような気分だ。林道からは知床岬へ向かう船も見えた。この船からは夏のシーズン中なら野生のイルカや森を歩くヒグマを見る事ができるらしいが、船に乗るには1万円近く掛かるというのであきらめた。

またYHのツアーで夜の星見ツアーに参加し、緯度の関係で沈まない北斗七星を初めて見る事ができた。

知床はとにかく見所が多く全部見るには

1週間はかかるという。

9月8日知床を出発。網走までの93kmがこのツーリングのラストランとなった。知床-網走間はオホーツク海を右手に眺める海岸線、牧場、直線道路と今まで走ってきた風景のオンパレードといった感じだった。そして遠く南の方には10日前走った阿寒の山並みが見え、なんだかなつかしい気分になった。

網走に着いたのは8日の日も暮れた7時過ぎ。最後までナイトランの絶えないこのツーリングは終了した。

着いたその足で夕食を取り、網走駅で自転車を分解。網走の町は見ずに夜行特急で一路札幌へ。札幌でここまで一緒に走ってきた3人でささやかな打ち上げの後札幌の町を見て回り、札幌駅で解散。池澤君は東京へ帰るため苫小牧港へ、僕と小川君は京都まで帰るため小樽へ、それぞれの帰路に着いた。

小樽駅前に立った時、手段を問わないならば僕は北海道を一周した事になる。駅前ちょうど1ヶ月前、小雨の中雨宿りに立ち寄った時と何1つ変わりはない。僕は一瞬これから旅が始まるのでは、と思った。しかし横から小川君がフェリーに乗るまでどうするか話し掛けてくる。そう、旅は終わったのだ。早く帰らないと夏休みもあとわずかだ。

◎言語道断ツーリング◎

- 小樽発……………8月14日(日)
- 網走着……………9月8日(木)
- 全行程……………25日間
- 全走行距離……………約1800km
- 諸経費……………約20万

★国内研修旅行記★

開発学科の、2年次生には、選択科目として1泊2日で行われる「国内研修」があります。今回は、「水源地、農道整備、農地造成、圃場整備等に関する現地見学。」として、下記の日程で行われました。

【第1日目 9月21日 (水)】

- 8:30 大学出発
- 10:45 江川ダム見学
- 11:45 寺内ダム見学
- 12:15 水の文化村見学
- 13:40 九州農政局筑後川中流域
農業水利事務所
- 14:40 合所ダム見学
- 15:30 大石堰見学

【第2日目 9月22日 (木)】

- 8:20 宿舍出発
- 9:00 山田堰見学
- 9:40 三連水車見学
- 11:00 栗木麵工場見学
- 12:30 畑地灌漑とサージタンク見学
- 13:30 九州農政局筑後川下流
農業水利事務所
- 14:40 筑後大堰見学
- 15:50 筑後導水路・クリーク
圃場整備事業見学

今回の参加者は、学生22名と引率の教員3名の計25名でした。当日はとても良い天気で、国内研修に出かけるには絶好の日でした。みんなが集合したところでバスに乗り、高速道路で一路最初の見学地である江川ダムへと向いました。

山道にはいと道幅は狭く曲がりくねっていて、「大きなバスが通れるのか?」と、みんなが心配していました。しかし、運転手さんはさすが慣れていて、スイスイと走り抜けていきました。

ところで、今年は全国的な水不足になりました。ここ福岡も例外ではなく、深刻な水不足に悩まされました。国内研修が行われた時には、福岡市では12時間断水を実施していました。このように、水事情にみんなが関心を持っている時に国内研修は行われました。それでは見学地の様子をご紹介します。

今年はちょうど水不足の時に行われた事もあり、どこの見学地に行っても水は大変少なく、改めて水不足ということを知らされました。昨年度は台風と重なったために、大雨にあって、水はたくさんあったということです。写真を比べるとよく判るのですが、去年は水がたくさんありますが、今年は水が少なくダムの底が見えています。



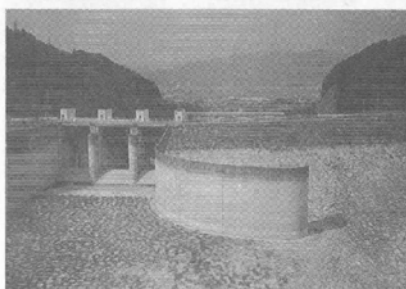
昨年の江川ダム



昨年の合所ダム



今年の江川ダム



今年の合所ダム

今年の見学では、3つのダムを見ました。どのダムも貯水率は10%を下回っていました。中には、普段放流する水を使い果たして、普段使うことのない底水を汲み揚げて使っているダムもありました。筑後川流域では、今年は平年の1割しか雨が降っていないそうです。今回の研修で見学地の説明をして下さった方々の話によると、「今は何よりも雨が降ってほしい。」と言っていました。

普段、私たちは非常にたくさんの水を使っています。それについてよく考えたりしたことがあるでしょうか。あの水道の蛇口

から出てくる水はどのような経路で運ばれて来るのでしょうか?「水」というものは無限に存在するわけではありません。それは莫大な資金やたくさんの人の労働力によって造られた貯水施設や送水施設によって確保されていることを知っているのでしょうか。今年の水不足は、そのようなことを考えるにはとても良いチャンスだったと思います。自分たちの身のまわりで、節約できる水はたくさんあると思います。皆さんも普段から節水について考えてみてはどうでしょうか。

最後になりますが、今回の国内研修に参

加した学生の感想を紹介して終りたいと思います。

ダムや堰は今までただ水をせきとめるためだけのものとばかり思っていたが、今回の国内研修でそれぞれの施設がどんな役割をしているのかわかった。

ダムにためられている水は、洪水調節、灌漑用水、水道用水と、一つのダムには多くの目的をもっていることもわかりました。

今年は雨がほとんど降らず、ダムの底にかろうじて残っているだけだった。それでも水は流されてた。それは、河川の正常な流れを守るために流していたのである。

渇水の時に水道が利用できるのも、ダムのおかげであることがわかった。堰には、魚が行来できるように、魚道というものが作られていた。魚の好む流速となるように堰の両側に水路を作り、そこを魚が通るといしくみになっている。このように、河川に住む生物のことまで考えて作られている、自然のこともきちんと考えられていることに感心した。

杉山 武



僕はこれまで水について深く考えたことがありませんでした。今回の国内研修に参加して、水を確保することの困難さを知りました。水がなくなるなんて考えたこともありませんでした。しかし、私たちが使っている水がたくさんの努力によることがわかって、あらためておどろかされました。そして、「水」という資源の大切さがよくわかりました。

安田 繁

海外研修 フランスの巻

◎今、大人気の南欧・プロバンス地方である。しかし南欧は「ボカボカのどかなバカンス」だけでなく、ローマ時代の数々の史跡、欧州第二の湾、大型貯水・送水施設を整えた商工業地帯など、様々な顔を持っている。

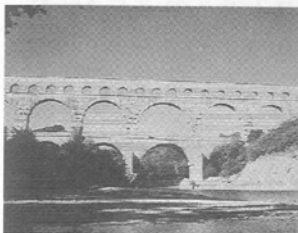
◎プラド海浜公園



広い広い人工の海岸である。「緑のある海岸があったらなあ。」というマルセイユ市長の一言で始まったプラド海浜公園の緑化事業は、今も続いている。この緑化に使われる土には、フォス湾周辺開発によって出た土を使ったり、塩分から植物を守るために大型スプリンクラーを取りつけるなど、かなり大がかりである。

シャワー、トイレ、散歩道、オブジェ、スケードボード用施設があり、今は身障者も水遊びができるような人工の半島を建設中であるという。誰でも利用できるように作るという考え方は、今の日本の町作り、都市計画には足りないものであるが、とても重要なことである。

◎Pont du Gard



ニームとアヴィニョンの中間あたりにあるローマ時代の水道橋。石造りの巨

大で強固であり、上に人が乗れる入口までである。多くの観光客がこの橋に乗っていると思うと改めてアーチ型を造りあげた先人の知恵に感心してしまう。

◎マルセイユ・フォス港

紀元前の昔から栄えているヨーロッパでも大型の湾であるフォス港は、その周辺に多くの石油系施設があり、南方から運ばれた石油を一手に集めている。そのためかフォス地方の気は汚染されている。

夜、外に出ると、外国人ばかりじゃあった。



Roma in Italy

8月27日(土)、ローマの休日の舞台、ローマに到着！ワクワクドキドキしている気持ちと裏腹に、時間がなくて、バタバタと市内見学。それでも、一番びっくりってもんじゃない。感激したのは、サンピエ



サンピエトロ寺院の上から

ロ寺院。とにかく大きい。これを本当に人間が作り上げたのかと疑いたくなるほどである。人

が、神を信じるわけだと思えてしまった。圧倒に圧倒。ため息が出た。又、内装も絵画や彫刻で一杯である。美術などに興味なくても、一度行ってほしい所である。それから、オードリー・ヘップバーンが行ったトレビの泉や真実の口にも行った。真実の口はイメージしていたのと違って、隠れた所に、ひっそりとあった。

コロッセオにも行ったが、外壁はほぼ残っていて圧倒されるが、中に入ると、中央は草が生え、至る所にくずれた柱が立っているだけで、ものさびしかった。ここで動物や人が血の流し合いをやったのかと思うと、ぞーとした。

8月28日(日)、自由行動だーと、朝、早く起きて、のみの市へ。服や小物入れや絵やバイクetc、いろんな物がズラッと奥まで続いている。スリも多い。物ごいのふりをしてダンボールなどで下げているバックを



見えなくし、そのスキに抜き取るのだ。近寄ってきたら、ふりはらい、キ然とした態度でいな

いとダメだ。昼頃、左写真のテヴェレ川沿いの並木道を通って、バチカン市国へ。

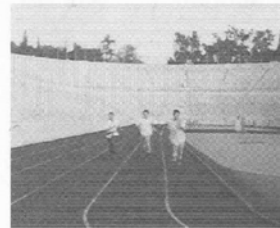
サンピエトロ寺院の頂上へ登った。階段とエレベーターがあって、階段で行ったのだが、きついし、狭い。本当に頂上に着くのだろうかと不安になった。こんな構造をいったい誰が設計したのだろうかと思えるくらい、圧迫感を感じさせる狭く、長い階段であった。

食べ物はおいしくて多いし、安い。そして、ローマの至る所に遺跡があって、歩いていると、何かにつかる。一つ一つに歴史がある。最先端の建物ばかり見ずに、何百、何千年と時を越えてきた古来の建物を見て、勉強するのも、いいかも。

AΘHNA in Greece

アテネ

8月29日(月)、飛行機がかなり遅れて、アテネに到着。すぐにアクロポリスの丘へ。丘の上に神殿がある。ギリシア神話の舞台でもある。あのポセイドンとアテナがアテネをめぐる争った時、アテナがオリーブの木を植え、勝利したというその伝説のオリーブの木があった。昔はバルテノン神殿の中に入れてたらしいが、今はロープがはってあった。でも、柱にさわれた。大きい。どうして昔の人は、これだけのものを作れたのだろうかとしみじみと感じた。しかし、入り口から見ると、ほぼ残っているようだが、裏にまわると、こわれ果て、車の



オリンピック競技場

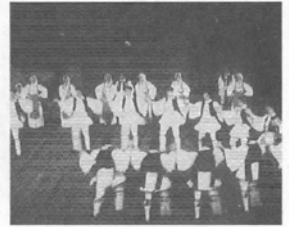
増加によって生じた酸性雨や公害のせいだろうか、黒っぽい所があった。

ここはオリンピック競技場。昔は長距離は直線を行ったり来たりしたのだという。

ギリシアのライフスタイルは、早起きで夜ふかし。シエスタ(昼寝の習慣)があるからだ。

だから当然シエスタの時間は店を閉めていることが多いので注意が必要。又、タベルナ(夕食)は遅く、だいたいタベルナの閉

店は21:00。食事の後、数人で地下鉄に乗り、徒歩でフィロパソスの丘へギリシアの



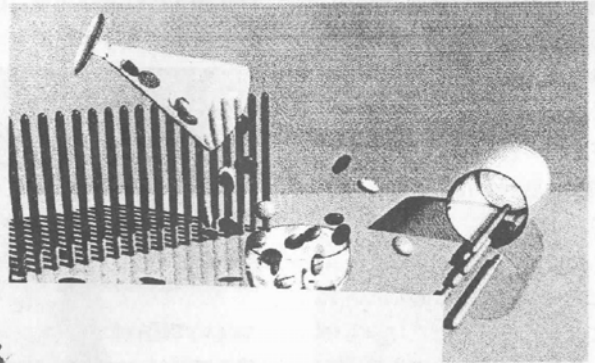
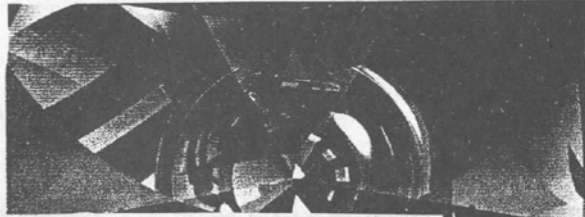
民族舞踊を見に行った。

最初道に迷ったけど、何とか着いてホッ。ダンスは、皆で手を

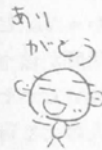
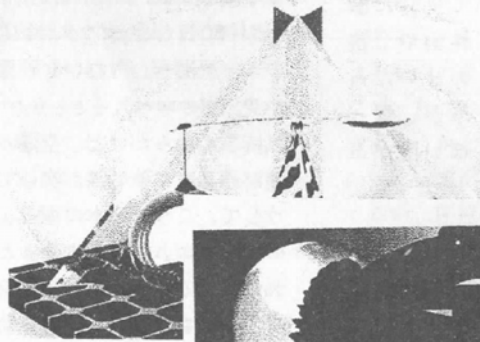
つないで踊ったり、タップダンスのような感じで飛びはねたり。0:00まであり、バスも地下鉄もなく、歩いて帰ったが、道が入りこんでいて迷った。町作りで、遺跡を第一に考えると、こういう道路になってしまうのだろうか。

8月30日(火)、ゼウス神殿に行った後、あのエーゲ海へ。きれいな砂浜、青い海、青い空。海の中へ入ると、魚がつついてくる。気持ちよかったけど、空港のそばで、飛行機が通る度に強い風が吹いて寒かった。どうして、こうも日本の海と、透明度が違うのだろうか。塩の量によるとも聞いたがそれだけだろうか。夜、ギリシア人のよく行くというレストランに行った。確かにおいしかったが量がすごい。2、3人前なのだ。でも安い。ギリシアは信号の変化が早く、皆、せかせかしているようで、のんびりと食事をしたりする。おもしろい国だった。

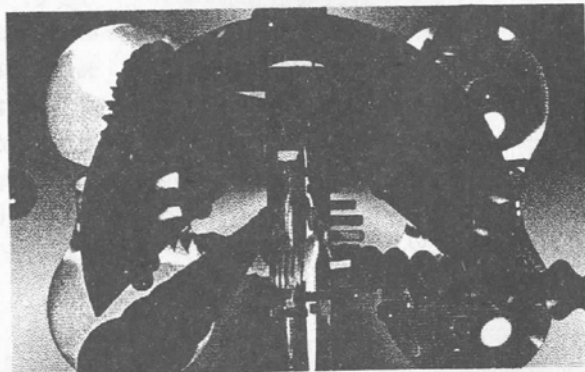
一般ボ集した表紙のすべて



運営類
による
多数決
の結果
中内一博さんの
作品に決定
しました。



この企画に
乗って下さった多くの
方々、カンパを頂いた
安田君、ありがとう。



研究室だより

教養学科

齋藤 登研究室



皆さんがよく知っている円周率 π は、直径と円周の長さの比として定義される。今日は、この π に対する公式をいくつか紹介しよう。もちろん、いずれの等式も数学的に厳密に証明されている。

$$\pi/4 = 1 - 1/3 + 1/5 - 1/7 + \dots$$

$$\pi/2 = \frac{2 \cdot 2}{1 \cdot 3} - \frac{4 \cdot 4}{3 \cdot 5} + \frac{6 \cdot 6}{5 \cdot 7} - \dots$$

$$\frac{2}{\pi} = \sqrt{\frac{1}{2}} \sqrt{\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \sqrt{\frac{1}{2}}}$$

$$\sqrt{\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \sqrt{\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \sqrt{\frac{1}{2}}}} \dots$$

$$\pi^2/6 = 1/1^2 + 1/2^2 + 1/3^2 + 1/4^2 + \dots$$

$$e^{i\pi} = -1 \quad (i = \sqrt{-1})$$

これらの等式を見ておもしろいと思いませんか。

児玉哲夫研究室



研究分野は「代数関数体の数論」です。この所彗星・ハンターよろしく、望遠鏡=パソコンを覗く毎日です。星はある種類の代数曲線です。素数の個数だけ無数にあるかどうかを調べています。パソコンで見える

近くの曲線が、予想した規則の場所に数個ありました。同類の無数の曲線が同じ規則の場所にあることを証明できればと思います。遠方の後半分位はまだ見えません。望遠鏡が小さいのか、規則が異なるのか解りません。最後に、新参者ですが、宜しくお願い致します。

牧原義一研究室



私は各学科の2年次に開講されている「基礎物理実験」を担当しています。平成6年度からこの授業の中身が大きく変わりました。この紙面を借りて、その中身を少し紹介してみましよう。

この授業では2週で1テーマの実験を行います。各テーマ毎に基礎的なものから応用的なものまで2~4個の課題が用意しておりますので、自分の実験の進捗やその興味に応じて実験を進めて行きましよう。現代的なテーマ、エネルギーの実験やパソコンを使った実験等がたくさんあります。物理の実験をやったことの無い人も心配は入りません。自分の頭でよ〜く考え、友達と議論しながら、楽しくそして積極的に実験してみましよう。

濱田英隆研究室



古代の数学に挑戦!!

「死のうとしている人が妻に遺言をした。当時妻は懐妊中であった。君が男の子を生

めばその子に遺産の3分の2を与え、君は3分の1をとりなさい。もし女の子を生めば、その子に3分の1を与え、君は3分の2をとりなさい。ところが実際には男子と女子の双子児が生まれた。このとき、遺言通りに遺産を分けるには、どうすればよいか？」

島屋八生研究室



今日の生活環境の変化は私達の身体活動の機会を著しく減少させてきた。現代病、成人病等にみられる運動不足、栄養過多による弊害が次第に増加している。この運動不足の実態は大学生においても同様であり、体育系クラブ加入以外の学生は、体育実技(スポーツI・II)が唯一の身体活動を伴う時間である。最も体力が向上する大学時代に生涯にわたる体力維持増進の素養を高め、毎日の生活において身体活動を取り入れた、人間の本性にもとづく身体活動要求を認識させる事が大切である。又学生に身体活動のよろこび、たのしさ、快さを体得させ、身体運動の意識化をはかることが大切である。

島谷 浩研究室



コンピュータを利用した教育(CAI)の研究・実践と、英語学習者の談話分析などを、中心テーマに研究しています。CAIの授業実践も3年目となり、その成果を語学ラボラトリー学会第34回全国研究大会で発表しました。

大学祭の学習企画として教養で開催している恒例のコンピュータ利用のコンテストも、今年で6年目を迎えました。第6回知識量、第5回英語コンテストに加えて、4年ぶりに雑学コンテストが、英語研究会の協力で復活し大変好評でした。

趙 華安研究室



グラフ理論(Graph Theory)は、情報科学を支える基礎数学の一つである。いくつかの点とそれらを結ぶ線からなるグラフは数学モデルとして、自然・社会・人文科学の諸分野に幅広く応用されている。いわば、グラフ理論は“点と線”の接続関係を研究する学問である。図形で表現するせいもあって、グラフ理論により問題は視覚的に理解され、解決が容易になる。当研究室では、グラフ理論の応用として、大規模集積回路の設計等に新しいグラフモデルを開発・研究している。

奥田裕司研究室



こんにちは奥田研究室です。この度、平成6年度追加予算によりマッキントッシュ音声解析システム「サウンドスコープ」の購入を認めて頂くこととなりました。このシステムは、人間の音声を様々な角度から分析することができるソフトウェアを備えた優れた測定器です。

そこでこのシステムを用いて英語発音の

クリニックを始めたいと思います。自分の発音のチェックや練習をしてみたい方はどなたでも遠慮なくこの研究室へ来てみてください。お待ちしております！

長井達三研究室

界面の統計物理学



山栄 允研究室

機能性材料



田中洋介研究室

原子核とハイパー核の構造の研究



両角隆子研究室

19~20世紀転換期のドイツ・オーストリー文学



森 肇研究室

カオスの研究



緒方速雄研究室

関数空間・位相空間の研究



田吹昌俊研究室

英語、日本語の談話分析



武末邦通研究室

作用素環の研究



太田成俊研究室

統計物理学



梨羽 茂研究室

運動生理学



機械工学科

木村和男研究室

我が研究室の卒研生は全員それぞれ豊かな個性の持ち主である。就職状況が厳しいなか卒研に就職活動にとで、卒研の本格的活動はいささかおくれ気味、最近ようやく軌道にのって来た。テーマの1つである2自由度強制振動の動吸振器の検討は機械工学実験の装置作成と言う事も兼ねて実施している。動吸振器の動きの観察、検討出来るのも間近である。他のもう1つのテーマは高次要素によるFEMのプログラムの作成とその検討である。卒研生諫山、岡竹、岡田、増田、南、山名。



吉富 佐研究室

私の研究テーマは産業用ロボットの適用拡大である。卒業研究も毎年大型ロボットを使うこれに関連する研究を行っている。大学の4年の間で、卒業研究は自律的な学習ができる数少ないチャンスであるから、私は、学生が自分で理解し解決できるレベルで、しかし社会の進歩に貢献ができるテーマを卒業研究として与えることにしている。幸い、毎年、学生は苦勞しながら自力で研究成果をまとめることができている。多分自信を付けて卒業しているだろう。



村岡俊夫研究室

加工学研究室の研究テーマは、工作機械の熱変形の解析とエンドミル切削における刃先の挙動の解析およびNC立フライス盤の設計の三つです。

工作機械の熱変形は加工精度向上に大きな影響を与えるので、この熱変形の減少を計る研究であり、エンドミル切削は4枚刃エンドミルで上向きと下向き切削において、とくに刃先の挙動をミクロ的に解析します。NC立フライス盤の設計は新しく1台のNC工作機械を設計し全部品の図面も作成します。



佐藤征一研究室

私達の研究室では混相流によるエロージョンの研究をしています。エロージョンというのは微粒子が材料面にくりかえし衝突することにより生じる損傷のことで粉粒体の空気輸送装置や発電所のボイラーなど多くの工業装置で見られ事故の原因となります。私達の卒研テーマはダクト内のエロージョン分布をシミュレーションにより予測する手法を見つけることです。学生 粒子班 久留島直人、坂井洋則、白井茂樹。流体班 佐藤成倫、田中智洋、早瀬和之。



三石信雄研究室



我々三石研究室では、水素吸蔵合金について研究しておりますが、一見非常に難しく思うかもしれませんが、意外にそうでもありません。またわが研究室では完全週休2日制はもちろん、春夏冬の長期休暇があり、秋には旅行などもあります。さらにエアコン及び水道、電気コンロ、ベッド、テレビなど装備も充実しており、研究に打ち込める様に最高の環境を用意しております。ただし、三石研究室では、我々の様な優秀でやる気のある人材しか求めておりませんので心して来る様！

松永成徳研究室



流体工学研究室ではなるべく単純な流動現象にしぼって、観察・定量化の手法を学習しています。

卒業研究学生は6名、レイノルズ実験装置で助走区間の流れ、回流水トンネル装置で水素気泡タイムライン法による二次元物体まわりの流れ、共軸異径急拡大流れ、3テーマをそれぞれ2名ペアで研究しています。中国黒龍江省建築工程学院から、客員研究員を迎えて上記第2テーマに協力をえており、楽しい研究室に成長することが大切と全員努力しています。

種田元治研究室



大は宇宙構造物から小はIC・LSI等の電子部品まで、種々の製品にはそれぞれ途中で壊れることのないよう、十分な強度を持たせておくことが重要です。当研究室はそのための研究を行っており、材料力学研究室とも呼んでいます。本年度は6人の卒業研究生が、テレビ・VTR・電子計算機など電子応用機器内にある微細はんだ接続部やはんだ材料自身について、また自動車などに多用され始めた球状黒鉛鋳鉄材について、それぞれの金属疲労の研究に取り組み、頑張っています。

小山田哲也研究室



“エンジン”それはバイクや自動車でお馴染みの原動機である。

内燃機関はこの他トラック、バス、航空機、船舶など広い分野で活用されているが、その主な理由は熱効率が高く、燃料経済性に優れ、かつコンパクトな形にまとめられるからである。

ところで内燃機関はこれからも以上のような特長を生かしながら、また地球に優しい機関として育てる必要があり、私達の研究室ではこのような課題に挑戦している。“エンジン大好き野郎”の卒研参加を期待している。

中島正三郎研究室



当研究室の別名は材料学研究室である。材料は工学・工業の基礎をなす。当研究室では、材料の機械的性質の改良に関する研究に取り組んでいる。

今年度の卒業研究では、純鉄、低炭素鋼、アルミニウムの機械的性質に及ぼす冷間加工および熱処理の影響について調査している。当研究室は昨年開設されたばかりの若い研究室で、実験設備、研究内容の充実に励んでいる。材料を知りたい学生、バイオニア精神旺盛な学生、当研究室へどうぞ。

藤原義也研究室



私達、藤原研究室は担当教授の藤原先生を中心に輸送関係の研究を行なっています。今年度の卒業研究テーマは、パイプ中にカプセルを入れ、水を動力源として流す水力式輸送の輸送特性についての研究と、パイプ中にポリエチレンペレットを入れ、コンプレッサーでの圧力差による空気を動力源として流す空気式輸送の輸送特性についての研究です。

今は実験が終わり、データ処理と論文作成に頑張っています。

上條恵右研究室



我々の研究室は7名で「多関節ロボットの誤差測定と解析」、「定圧砥粒加工装置の設計製作と基本性能の検討」、「FFTを利用した砥粒加工面の特徴評価」という3つのテーマを、パソコンのプロフェッショナル上條先生、吉富研究室の長、吉富先生、その助手安積先生ご指導のもと、一丸となって研究しております。

パソコンを利用したロボットの自動制御は、非常に難しいものですが、それ故にやりがいもあります。満足のいく結果を目指して頑張っていこうと思います。

レポート：岩崎

研究生：尾田雅紀、藤原啓丞、渡辺 拓
岩崎加朱幸、坂井田篤史
田中京一、宮城 治（以上7名）

大森正信研究室

塑性力学の理論および加工特性



電気工学科

久保田信久研究室



当研究室の研究テーマは、デジタル信号処理技術の応用システム開発である。現在の目標は、センサの動誤差補償、即ちセンサの出力信号に含まれる歪みや雑音を除去するための最適フィルタを自動的に決定できるシステムの開発、およびデータ圧縮技術とコンピュータネットワークを組合わせた高速画像伝送・復元システムの開発である。何れもWINDOWS環境のパソコンでシステム開発を行っている。

松枝宏明研究室



Visual BasicによるWindows上のプログラム作成を行っています。プログラミングは試行錯誤のくり返しとデバッグとの戦いです。その意味では粘り強さが要求されます。しかし、完全に走ったときの満足感も、苦勞に比例して大きなものとなります。卒研生の諸君が徐々に上達し、自信をつけていく過程を眺めるのは心地好いものです。



福田順子研究室



福田研究室は、4回生をはじめ3回生、2回生と幾人もの学生が、出入りする研究室です。

4回生は、今年度の卒業研究として、C、FORTRAN言語などを用いて、「三次元画像処理システム」や「有限要素法の解析支援システム」などの開発を行っています。

また、毎年3回生、2回生が中心となって、情報処理技術者試験合格を目標に、勉強会を行っています。 記：若林昌昭

嶺 勝敏研究室



平成6年度の共同研究者は、森元史朗助手、武石幸人助手と客員研究員のハルビン工業大学李訥助教授で、卒業研究題目と卒研氏名は下記のとおりです。

- (1) 心電図計測の高精度化
(情報) 草野宏樹 (電子) 安藤浩二
- (2) ニューロネットによる動誤差軽減
(情報) 横山幸俊 (電子) 池本和宏
- (3) LC計測における高感度化
(電子) 大東誠二 (電子) 小倉利雄
- (4) 温度画像による診断法
(電子) 藤岡裕士 (電気) 吉川敦史

榎藤靖夫研究室



磁性薄膜は、ハードディスクやフロッピーディスク、光磁気ディスクなどの材料としてお馴染みのものであるが、さらに記録の高密度化、高性能化のためには磁性薄膜の基礎物性の解明とともに、薄膜製作技術を含めた薄膜工学という広い新しい研究分野の進歩が必要である。当研究室では、これらの課題を担当すべく研究装置の整備をすすめ、現在超高真空蒸着装置による薄膜の作製と、作製した薄膜試料のエリプソメータによる光学定数と膜厚の評価を行っている。

安在弘幸研究室



ここはソフトウェア開発研究室です。

以前に、プログラムを計算機実行可能な言語に翻訳するコンパイラを研究し、プログラミング言語の構文と意味の記述からコンパイラを自動生成するシステムを開発し、それをを用いているいろいろな言語のコンパイラを試作しました。

いまはその応用を目的に、オブジェクト指向プログラミングやビジュアルプログラミングなどのソフトウェア開発法、またコンピュータネットワークやマルチメディアに関する研究を進めています。

檜垣 勝研究室



電気エネルギーを輸送するシステムを光を利用して制御し、保護するために必要な光応用計測技術の研究と、これからの電力事情を考えると環境性を配慮した新しい電力機器が望まれることから、各種の絶縁媒体の電気特性や高電圧放電現象に関する基礎研究を進めています。

本年度の卒業研究では、高周波磁界重畳方式光電流センサの感度向上、BGO結晶を用いた光電圧センサの安定性向上、およびSF₆ガス絶縁に関する基礎研究の三つのテーマで研究を進めています。

生地文也研究室



物質の物理的大きさを原子オーダーで制御できれば、これまで想像されなかった新しいメカニズムの電子デバイスが実現できる可能性がある。

本研究室では、原子一個あるいは原子の集合体を希望の位置に自在に配置したり、取り除いたりする技術の基礎となる表面研究を行っている。研究テーマとして、①イオン・電子による半導体表面の計測と制御に関する研究と、②イオンを基礎とした新しい成膜技術の開発に関する研究の二つをかかっている。

野澤忠生研究室



21世紀の世界は、人口増大、食料危機、地球・生活環境の悪化、エネルギー枯渇及び資源枯渇問題を抱えております。我々は、これらの難題に対し、エネルギー損失の少ない磁性材料の開発、自然エネルギーの有効利用、電磁波遮蔽等の研究開発を介して貢献することを目標にしております。

山口静夫研究室



研究テーマとしては、外部共振器型高出力半導体レーザー光源を開発し、非線形光学結晶による波長変換(2倍波)による可視から紫外のレーザー光の発生、さらに可視から近赤外域にわたる連続周波数掃引可能なレーザーの開発を目指している。現在6名の卒研究生(岩原、徳永、岩倉、高山、我如古、中村)が、各自の持ち味を出しながら下記テーマを頑張っている。

- 1) 太陽光発電の基本特性の測定
- 2) 半導体レーザーの温度制御法の開発
- 3) レーザ特性のマイコンによる自動測定

真田瑞穂研究室



我々の研究室では、TeX(テフ)という。文章の出力ツールの研究を行っている。とは言っても、文章を勝手に作ってくれるツールではなく、論文など、ある程度の量のある文章を、決まった体裁に整えて出力するツールである。便利なツールではあるが、ワープロよりもはるかに複雑で、C言語の様な記述をするので、ワープロのように直感だけで扱える代物ではないが、その出力はたいへん綺麗な物になる。当然の事ながら卒論はTeXで出力される事になっている。

榎木田仁水研究室



広帯域誘電物性の研究



土木工学科

長弘雄次研究室



本研究室では土木工学史の研究を行っており、北九州各地の土木遺産の調査を実施、今後の土木工学の発展に資するものである。今年度の卒業研究のテーマは次のとおりである。

1. 北部九州における石橋に関する研究
川田浩城、宮本真一
2. 筑豊地区における鉄道構造物(トンネル・橋梁)の変遷についての研究
小林憲一、吉岡照展
3. 九州の石炭産業における立坑掘さくに関する研究
坂本英次朗、柏原紀夫

松下博通研究室



私たちコンクリート工学研究室は松下先生、技能員の安藤先生、そして卒研究生9名でコンクリートに関する研究をあらゆる方向から行っています。

我々の研究室は他の研究室とちがい土木実験センター内にあり、部屋を一步出るとすばらしい設備にかこまれて、非常に実験意欲が向上するという最適な場所です。実験もはかどるが遊ぶ時はとことん遊びます。

みなさんもひまがあれば土木実験センターを見学してみませんか？

烏野 清研究室



我々の研究室の卒論は大きく次のグループに分かれている。

1. 鋼矢板二重壁の設計法確立(異剛性、根入長、中詰土剛性、載荷荷重による違い)
2. 橋脚の振動特性を用いた洗掘度合の判定法
3. 最適防振溝の設計法
4. STATNAMIC試験による杭支持推定法
上記のテーマに対して、10人の4年生が毎日パソコンで計算したり、図面を描いたりしている。土木の中でも4年生のまとまりがあり、遊ぶ時も研究する時も和気合々とやっている。

小島治幸研究室



私達の小島研究室は、先生や織田助手を始め11名の研究生全員が明るいので毎日楽しく研究に励んでいます。研究室では、週に1度、海岸・港湾工学のゼミを行い、その他の日は、各自の研究テーマにそった研究を行っています。今年の研究内容は、芦屋海岸における短長期的な海浜変形調査と塩害調査、直立消波護岸の打ち上げ高に関する模型実験、ハイブリッド消波構造物の消波特性に関する数値解析、北部九州沿岸における海岸利用形態とその特性に関する研究などです。

粟谷陽一研究室



私達の環境水理学研究室では、粟谷先生を筆頭に、荒尾助手、卒研7名の計9名で日夜研究に取り組んでいます。近年、特に都市部の雨水排除に関する研究を行っています。当研究室では、毎年実験装置を作成することから研究の第一歩が始まり、卒業するころには、一人前の「大工」となっております。また、当研究室の特徴のひとつとして、年に数回行われる「酒宴」では、特にお酒が好きな人に好評を得ております。このように当研究室では、「酒宴」に「研究」に全員が日々努力しております。

片山正敏研究室



海洋は、資源開発等の他に空間利用面でも活用されているが、近年第3の国土空間としての沿岸域（いわゆるウォーターフロント）開発も脚光を浴びている。当研究室では、海洋（ウォーターフロント）開発にあたって使用される各種施設や構造物（注：鋼構造が中心）について、システム工学的アプローチからの基本計画・設計法や厳しい自然環境荷重（主として波浪荷重）の下での構造応答解析、構造・強度上の安全性評価法等の研究を中心に、長期的に取り組んでいる。

前田良刀研究室



当研究室では、日常生活のなかでも最も身近な存在である地盤について、その強さや変形の状態を力学的に調査して、実際の道路、橋梁、ダムなどが建設された場合などのような影響が生じるかを研究しています。今年度の卒業研究のテーマは、①地盤の支持力、変形に及ぼす基礎の寸法効果、②組み合わせ荷重を受ける杭の支持力、③高速道路における路床土の締め固め特性、④道路舗装の路盤材料の材料特性と舗装構成、です。

三原徹治研究室



この研究室では、10人の独特な個性を持った卒研10人が三原先生という親分と木村先生という兄貴みたいな人の元で遊びに卒研にと全員が一丸となって日々奮闘しています。先生には研究の内容はもとより物事に対する考え方、仕事をする上での意識の持ち方など自分達がこれから社会に出て最も大切な事を教わりました。

後輩達にも学生最後の大切な一年間をこの三原研究室で研究を含め、より多くの事を学んでもらいたいと思っています。

高山俊一研究室



本研究室では、主にPC・高強度・スラグ・アンカー・埋戻し材の研究を毎日コツコツと行なっています。日々の成果は小さなものですが、僕達の中には大きな自信となっています。九州の中でも指折りの設備を持っている土木実験センターで、あらゆる方向から実験を進めています。毎日悪戦苦闘しています。又パソコンでゲームをしたり、キャッチボールや飲み会、学祭で店を出したり、卒業前にはスキーなど、好きほうだいみんな、やっています。とにかく何事もマジです。

田中邦博研究室



当、研究室は、杭の地盤支持力の研究と、測量の研究の2班に分かれて研究を行っています。それぞれ学生の自主性に任せた自由な研究をテーマとして、毎日研究にはげんでいます。

また、先生の仕事の手伝いも多く、パソコンはもちろんのこと、就職先でも役に立つ、さまざまな仕事も経験でき、毎日充実した日々を過ごしています。

研究生：中川博明、薬師昭夫、池内一史、石井邦明、坪倉宏篤、中島真一、浜崎義久、細野 真、屋良 保

上田年比古研究室



流出解析・最適利水操作に関する研究

建築学科

重藤和之研究室



我が重藤研究室は、日夜研究にはげむコンクリートのプロフェッショナルである。というのも、コンクリートの作成から破壊までを全て担う集団だからである。それ故に、軽い気持ちで所属を希望しないでほしい。なぜなら、「日夜」という言葉どおり、月曜から土曜、しかも朝9時から夕方6時まで出勤しなくてはならない。その覚悟があるならば、一度研究室をのぞいてほしい。将来、コンクリートを扱う職場へ就職したければ、当研究室は、他のどの研究室よりも有利である。

竹下秀俊研究室



当研究室の今年の卒研生は12名、3年ゼミ生は10名です。

今年度は10月に卒研生、3年ゼミ生全員で2泊3日で農家住宅の調査を行いました。家の中に上がり込んで住宅間取りを方眼紙に書き取ると共に、家の人にいろいろとヒヤリングをするととても大変な仕事でしたが、

皆んなよく頑張りました。

9月には、付属女子高や八幡西高生といっしょに、女子大前地下歩道に壁画を描きましたが、大学生活の良き思い出となる楽しい作業でした。

江崎文也研究室



今年6月下旬、本学の海外研修制度を利用して、昨年卒論でまとめた研究成果をスロバキアで発表する機会を得ることができました。今年、卒論生11名が4つの研究テーマに取り組んでいます。どのテーマとも実験に関連していますので、全員が一致協力して取り組んでいます。去年の夏休みも九州の各大学の研究者と学生との合同ゼミに参加し、他大学の学生との交流を深めることができ、また、研究室全員が参加したキャンプ旅行を行い、楽しいひとときを過ごしました。

山崎直也研究室



こんな物を読んでいる暇人共よ。我が輩達が『山ゼミ』である。これから汝等に山ゼミの秘密を教えてやろう。目を惹かしてよく読め。その秘密とは、山ゼミが世を忍ぶ仮の姿であるということだ。ではその実体は何か？それは『OUTDOORを楽しむながら山崎直也に殴られる会』なのである。どうだ、驚いたであろう。はあーっはっはっ。しかし、この程度で腰を抜かしてはいけない。(抜かさないって) 真実はもっと

もっと恐ろしい快樂が隠されているのだから……。

永田隆昌研究室



当研究室では、9名の卒業研究生がいます。その中で卒論グループは6名で、その内4名が、「地区計画単位の基礎的研究」という課題で、調査やアンケートなどを行っています。もう一つのグループの2人で、「折尾の地区交通計画」について、研究しています。

次に、設計グループの3名は各自で決めた課題について、設計をしています。

これで当研究室の紹介を終わります。

文責：大道 忠

平坂継臣研究室



当研究室では平坂先生をはじめとして卒論生11人、特論生7人で構成されています。研究室での毎日は勉強ばかりではありません。ソフトボールをしたり、酒をのんだり大いに楽しんでいます。平坂先生は“けじめ”を大切にしている先生ですので、それさえ守っていれば普段はとても優しく、色々な面で私達の面倒を見てくれます。「やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ」といったような、楽しい研究室です。

平成6年度 卒論生一同

古屋 浩研究室



『古屋研4年生のひとりごと』より……

我々が研究室は、建築学科ソフトボール大会優勝という輝かしい実績を持つと共に、建築音響工学を専門とする優秀な人材を多く抱えた頭脳集団であります。さて、『音』に興味のある方はおられますか？“建築と音？”という感じで、私も当初は自分の心の貧しさに愕然としたものです。しかし、日夜、先生のご指導により音とつきあってゆく中で徐々に洗脳され、その奥の深さを今更ながら思い知らされております。一度遊びに来ませんか。

松澤朋子研究室



僕達、松澤ゼミでは建築環境工学について、研究活動を行っています。その活動の一つとして、8月に2泊3日のゼミ旅行に行きました。1泊目はグリーンピア八女で、日本建築学会九州支部主催の環境工学シンポジウムに参加し、九州内のいろいろな大学の学生と夜中までワイワイと交流を深めることができました。2泊目は、キャンプです。焼き肉パーティー、温泉、天文観察、フィッシングと大自然の中に身を置き、自然のすばらしさ、大切さを再認識できた、有意義なゼミ旅行でした。(文責 栗田和幸)

尾道建二研究室



江戸時代建築の設計に関する研究

環境化学科

山本 陽研究室



衛生化学研究室は、山本教授の研究室で、研究室の一日は、挨拶から始まり、挨拶に終る。その間、植物採集に行く者、カラムの前で試験管を並べる者、液クロの前に立つ者、試薬を作る者など、それぞれの課題ごとに実験を行う。

特に教室で代々続いている実験の一つに「植物中の抗酸化物質のスクリーニング」があり、この実験の材料となる植物は好天の日、野山の散策がてら全員で集めて来ることになっている。今年で約五百種類にもなるが可成り有望なものも発見している。

(文責 山崎)

田代勇司研究室



“宇宙船地球号”には環境問題、食糧・医薬品・エネルギー等、人口問題など重要な問題が山積している。

本講座では天然物や廃棄物をより付加価値の高い物質(医薬品・食糧など)に転換させるという根本的な考えの下に、微生物を工業的に利用、または、環境浄化に利用する目的に沿って、生物工学的視点及び環境微生物学的視点から教育と研究を行っている。

多数の卒業研究生の入室を歓迎致します。

秋貞英雄研究室



本研究室の研究テーマは、分子集合体の研究です。界面活性剤（洗剤の主成分）が中心ですが、その他の物質にも手を出しています。ことわざに「三人よれば文珠の知恵」とあるように分子が多数集合すれば思わぬ機能が生まれます。生物の細胞もその典型です。本研究室の方向は、面白い現象の探査、熱力学データの集積とその理論解析です。実験そのものはいたって単純ですが、きれいさ、取扱い注意が多い神経を使う内容です。卒論生は、そのような中を気楽に通っていますが。後からみる私はあっあっ。

吉川博通研究室



私達の生態化学研究室は吉川先生、土井さん、4年生11人、2年生1人から成っています。私達の研究室では、植物ホルモンの一種であるアブシジン酸（ABA）について研究しています。その研究内容はABA類似化合物の合成とその生理活性や、植物や細菌からのABA生産及び生理活性などです。実験は、朝は9時から夕方5、6時まで行っています。この研究室は学生には難しいと敬遠されがちですが、実験の好きな人には最高の研究室だと思うので、ぜひ一度来て下さい!! (4年 上野淳一郎)

日高秀夫研究室



みなさんは紫川を愛していますか？私たち日高研究室の間はみんなこの川が大好きです。

私たちは、この川で春は天然アユの遡上調査を、夏から秋にかけてはゴミの調査とM-CAPという産卵期のアユの保護運動に参加し、秋はアユの産卵・ふ化の調査と新日鉄取水堰の魚道で仔アユの魚道降下数を調査しています。

全国でも珍しい環境化学科の中で、更に一風変わったことをやっている研究室です。
(4年 柴垣健太郎)

長 普子研究室



漢方薬に利用されている担子菌類（ブクリョウ、チョレイ、レイシ）に含まれる成分の化学構造および生物活性を解明するのが当研究室の研究テーマです。

94年度は伊藤正敏、大室幸子、岡久佳美、木ノ下賢一、小林吉康、榊原裕行、清水淳子、住田則夫、田口華楠、西本 晃、脇本昌史の11名が上記テーマで卒業研究に取り組みました。チョレイに含まれるビタミンD関連成分の構造推定など、今年も多くの成果が得られました。(文責 西本)

森田士郎研究室



植物細胞による有用物質の生産

吉満 斉研究室



天然物化学

開発学科

亀田伸裕研究室



当研究室では地域開発やウォーターフロント、緑地、リゾートなどの開発に伴う環境への影響に関する調査研究をリモートセンシングで行っている。

また、土地不足の都市開発における土地の高度利用のための地下施設などの基礎的研究をコンピュータによって解析なども行っている。

その他、熱外線や超音波を使用しコンクリートの非破壊検査をしている。

卒研生は15名で、文献調査、実験、データ処理にと毎日奮闘している。

河原田禮次郎研究室



当研究室では、新任の河原田教授、竹内

助手のもとで、記念館裏のガラス室にて点滴灌漑法による作物の栽培試験を行っています。本年度はトウモロコシを植え事務官の方々にもその収穫を期待されたいながら、今夏の高温のため不稔となってしまいました。かといって研究自体は実りのないものではなく、土壌面蒸発の測定、保水剤の農業利用、気象データによる蒸発散量の推定等、様々なアプローチから解析を進めています。今後の食料生産について深く学ぶことができます。

渡辺 明研究室



実験設備がなく、指導教官も着任1年目という状況下にあるため、その様な中でも展開できる研究テーマとして、構造物解体、耐久性設計、地球環境問題を取上げた。斯界が対峙する極めて重要な課題であり、息の長い研究であるので、単年度にとどめず継続的に取り組んでいきたい。学生諸君はゼミ室へ極力全員集合し相互に議論しながら楽しく進めている模様である。夏休み中、某工場のカルバート破壊実験にも参加させ、理論と実際を認識させた。

構造物の耐久性向上技術に関する研究

上里 鈴美香

構造物の維持補修に関する研究

高塚大和、福永英隆

構造物の解体に関する研究

大石 聡、堂宮由和

地球環境問題とその対策に関する考察

田中浩二、原 裕喜

岸田恭允研究室



近年の異常気象は、台風9119号、平成5年の冷夏と長雨、平成6年の渇水など、各地に記録的な被害をもたらしたことは記憶に新しい。生態系の自然復元力を越える規模の自然環境変動のもとで、環境保全型産業のあり方を探る。食糧輸入の自由化、中山間地域の過疎化が進むなかで、地域産業の活性化をめざし、今後の地域開発のあり方は如何にあるべきか、いま選択が迫られている。この視点から中山間地の環境の最適評価と地形気候資源の利活用が一つの課題である。

成富 勝研究室



振動現象は我々の周りに数多く存在する。そして、この現象は敵にも味方にもなる。何とかしてこのやっかいな現象から逃れることができぬか、あるいはその影響を小さくできないか。これらの問題について研究を行っている。研究室では、はるばる関門海峡を渡ってきた人のために、九州本土最高峰である久住登山を行っているが、今年はどうやら冬山になりそうだ。また、大学祭では絶叫大会を企画したり、鍋やおでんを囲んだり、共に青春の汗と涙を流している。

園田裕虎研究室



当研究室は、教員の異動に伴い今年新しくできた研究室で、開発行為が、景観をも含めた、地表付近の環境におよぼす影響に関する調査研究を行なっている。

主な研究テーマは、

- ①地表面の熱的特性に関する研究
- ②心理的計測法であるSD法による緑地等生活環境に関する調査研究等である。

講義としては測量学関係、計画学関係の科目を受け持っている。

森 信之研究室



卒業研究では、パソコンを用いたシミュレーションやデータ解析を主に行なっている。といっても、大抵は出来合いのソフトを使っているので、プログラミングはちょっと苦手……という学生でもOK。今年度は、人工衛星ランドサットからの地表画像データと社会統計資料とを照らしあわせ、宇宙から地球のことがどれくらい解るのか、という事を調べている。また、元々の専門が物理であるので、その方面のシミュレーション—例えば、浸透・拡散問題—も行なっている。

Thomas McMahon 研究室



卒研生のセミナーとしては、公害、エネルギー、自然資源および世界経済、科学の進歩等に関連する英語資料の輪読を行なう。専攻生は、英語力が必要であり、資料の内容に関して、メンバーの前で発表、討論し、最終的にレポートとして提出することが要求される。この資料は、徐々に難しいものとなり、その積み重ねが卒業論文となる。本セミナーの目的は、専門的な事象に対する理解力、創意力および発表能力、論文としての文章力を向上させることにある。



★編集後記★

運営委員長（開発3年） 関英太郎

3年間COMを続けて思ったことは、COMとはいったい何なのかということである。年1回、講演会を企画して、年1回comという雑誌を発行する。これは、基本的な決まりである。その他のことは、ある程度の常識をもっていけば制約されることは、ほとんどない。だから、自分で何かをしたいと思っている人、また、その手伝いをしたいと思っている人がいる。それだけではなく、他学科他学年の学生と、知り合うチャンスの場もある。しかし、3年間の中で一番の財産は、友人がたくさんできたことである。みんなサークルに入っていたので、サークル同士のつきあいにまで発展した。3年でやめるのは、もったいないので、また来年も工学会で頑張らねす。

編集長（開発3年） 門田有佳子→ぐうたら者である。

まったくもってなまけ者なのである。忙しそうに見せて、実はサボった結果の忙しきなのだから自業自得である。学生課まで煩わせておいてポシャった幻の名企画「寮理方歳」。私が取材した分で公開しよう。—MK寮の真実—

◎村山光子さん…おうし座・B型・淡白・寮母

おかあちゃんと呼ぶにふさわしいあっさりさっぱりくっきりな人である。寮の食事はというと、カツあり肉ありケーキありと何ともうらやましい限りであり「うちの母さんよりうまいよ。」という声(寮生より)も聞かれた。また2年、3年と住み続ける人も多く卒業しても連絡があったりと「我が家のような感じ」である。最後にメッセージを下さいと言うと「親孝行してね。」と下さり、真に心温まる寮である。この企画のためにお骨折り下さった多くの方々、本当にすみませんでした。



開発3年 荒川ゆか

→今回は阿蘇に取材に行かせていただきました。阿蘇では多くの方々にお世話になり、大変幸せに思っています。遅ればせながらこの場を借りてお礼を申し上げます。阿蘇のページでは書けなかったのですが、素晴らしい場所を教えてくださいました。今思えばもっと書かなければいけないことがありました。自分の力不足がくやしいです。阿蘇事務所の皆様、すみませんでした。そしてありがとうございました。

開発3年 片上和美

→今回の取材は、私が中国に行ってみたくという願望から始まったものです。船に乗る前と、降りた後では気持ちの上でかなりの変化があったような気がします。2月の初旬に記録ビデオとアルバムをもらいました。それらを見ていると船に参加していた日々が思い出されます。現在、船で知り合ったメンバーでいろんな会を催したりと楽しくやっています。九州青年の船に参加していた上でお世話になりました福岡県青少年対策課、九船事務局の皆様はこの場を借りてお礼を申し上げます。また、大変お世話になりました熊本県阿蘇事務所総務振興課の皆様にもお礼申し上げます。

開発3年 権原真弓

→3年間COMのお陰で普通できないような事も経験できたし、いろいろあってやって良かったと思います。ヒマな人もヒマでない人もぜひやってみて？ 3年間ありがとうございました。

機械工学科 3年 合屋昌樹

この工学会には機械科の中で先生に「やってくれないか」と言われ、とりあえず行くだけ行ってみようと思い、最初の集まりでは、「じゃあ、籍だけ置いておく」ということでやってきたが、ただ会議が少人数の中何回か開かれ、あつというまに講演会があり、学園祭があり、もうこのまま工学会(COM)も終わるのだろうかと思ったら、「何か一つでも記事を書かない」といわれ、それでは、「近場の遊び場」を書こうということになり、そして、正月過ぎに一本の電話で「行く？書く、書かないは後に行かない？」ということで宗像ユリックスに行き、「じゃあ、書いてみようかな」というのが宗像ユリックスの記事になって書かれている、「私のおすすめメニュー」まで書かされてしまい、「工学会には、ただいるだけ」という存在から2つの記事まで書いてしまったが、今になって終わってみると1年間だけであったが、工学会に入って充実した大学3年生生活をおくることができ、いい思い出になったと思う。(だからと書いてしまったがやはりやってきて一言)「我こそはと思う工学部諸君で、そんな学生生活もいいかな？と思う学生はLet'sチャレンジ」だけが言いたい。

電気 2年 井本正之

COMの編集に御協力下さった方々ありがとうございました。今回のCOMの良い点、悪い点を考え、次回のCOMはより多くの方に読んでいただける様、がんばっていきたいと思います。

編集後記 安田 繁

今年は、工学会に参加して一年目ということもあり、多くの失敗もあったが、それなりに充実した一年だった。来年度からは、工学会の事業も拡大されるので、来年度はもっとならばろうと思う。記事は、あまり良い企画が思いつかばなかつたので、今イチくやしいので、こんどこそ、とびきり面白い企画を考えたい。来年は新たな出発の年として、工学会が発展すると良いと思います。

たけし

おもしろくて、楽しかった。

機械科一年 吉村成美

工学会というものが何なのかよく知らないまま、他の学科・学年の人との交流する機会があると聞いて参加した。講演会以外はほとんど活動に参加することもなく、1年生がいなかったことは残念であったが、始め聞いていたように、いろんな人と知り合えたことが楽しかった。こうした機会のあまりない大学というところで、そのきっかけとなることができたらいと思った。

* COM * 名称由来

“COM”は、communication, community, companion, commonなどの英語の接頭語です。それは、with, together, altogether, completely すなわち「皆さん一緒に」と言う意味を持っています。この意味は、この雑誌の目的である教職員、学生の交流と一致します。そのような訳で、その新鮮な語感とあいまって、この雑誌の名称に決定されました。